

第6次玉城町総合計画策定に向けた住民意識調査  
結果報告書

令和2年1月

# 目次

<b>調査の概要</b> .....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象者.....	1
(3) 調査票の配布・回収状況.....	1
(4) 調査方法.....	1
(5) 調査期間.....	1
(6) グラフの見方等の注意点.....	1
<b>調査結果</b> .....	2
(1) 属性.....	2
①性別.....	2
②年齢.....	3
③居住地区.....	4
④家族形態.....	5
⑤出身者か転入者か.....	5
⑥居住期間.....	6
⑦職業（雇用形態）.....	6
(2) 住みやすさについて.....	7
①住みやすさ.....	7
②まちが好きか.....	10
③子育てする場所として魅力的か.....	10
④働く場所として魅力的か.....	11
⑤今後の居留意向.....	11
⑥住み続けるために必要なこと.....	12
(3) 施策の満足度と重要度.....	13
①満足度・重要度.....	14
②評点による満足度と重要度.....	18
③満足度と重要度の関係.....	19
(4) めざすべきまちの将来イメージ.....	21
(5) 子育て支援施策について.....	23
(6) 移住・定住施策について.....	25
(7) 若者支援施策について.....	26
(8) 就業支援施策について.....	27
(9) 防災対策について.....	28
(10) 文化・スポーツ施策について.....	29

(11) 文化財等の歴史的資産保護等について.....	30
(12) 地域の自治活動について.....	32
(13) 協働のまちづくりについて.....	34
(14) 行財政改革について.....	36

<b>住民意識調査による総合戦略の数値目標の比較 .....</b>	<b>38</b>
------------------------------------	-----------



## 調査の概要

### (1) 調査の目的

本町においては、平成 23 年に第 5 次玉城町総合計画を策定し、これにもとづき、まちづくりを進めてきました。

令和 2 年度に本計画が目標年次を迎えることから、次期の計画である「第 6 次玉城町総合計画」を策定すべく作業を進めています。

本調査は、計画策定時からのまちづくりについて、住民の目線で評価し、今後のまちづくりへの意向を聞き、新たな計画策定に向けた資料とするため実施しました。

### (2) 調査対象者

16 歳以上の町内在住の方 2,000 人

### (3) 調査票の配布・回収状況

配布数：2,000 件

回収数：797 件

有効回収率：39.8%

### (4) 調査方法

郵送配布・郵送回収

### (5) 調査期間

令和元年 9 月～10 月

### (6) グラフの見方等の注意点

- ・ 構成比 (%) は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した数値であるため、合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の場合、各項目の比率の合計は 100.0%を超えることがあります。
- ・ 表、グラフ等の見出し及び文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度で省略している場合があります。
- ・ なお、集計結果は特記しない限り「回答なし」を含みます。
- ・ 第 5 次総合計画策定時の住民意識調査を「第 5 次調査」と表記しています。

## 調査結果

### (1) 属性

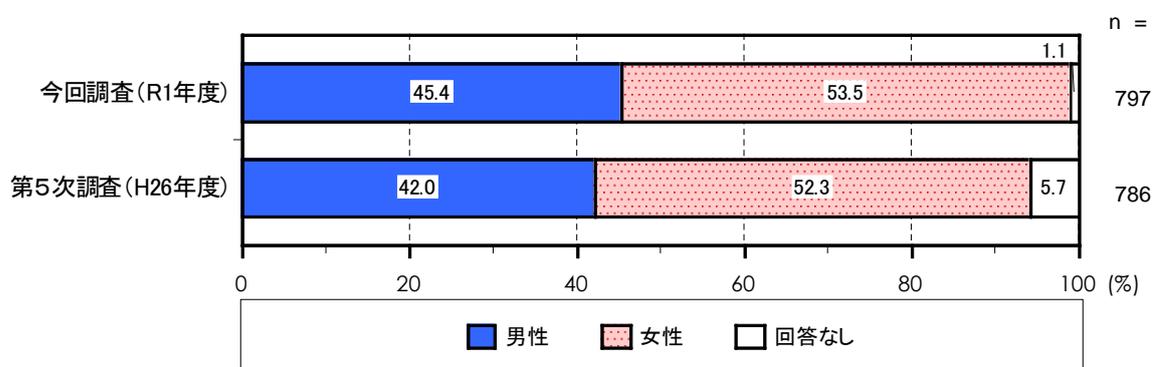
#### ①性別

問1 あなたの性別・年齢を教えてください。(平成31年4月2日時点)

#### ◆回答者の性別は、女性が多くなっています。

- 回答者の性別は「男性」45.4%、「女性」53.5%と、女性の割合が高くなっています。
- 第5次調査と比べても傾向の変化はありません。

図表1 回答者の性別（経年比較）

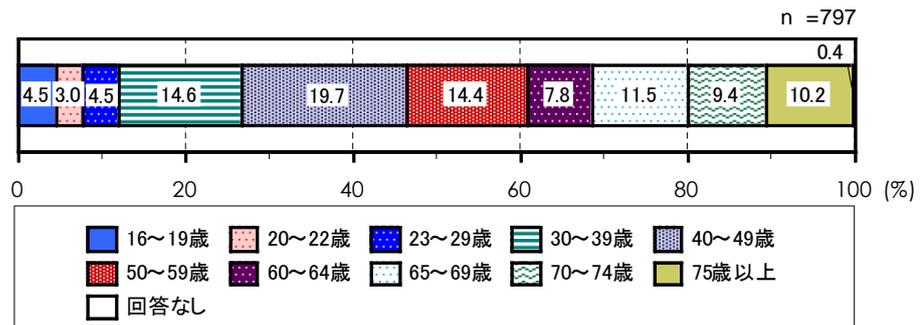


## ②年齢

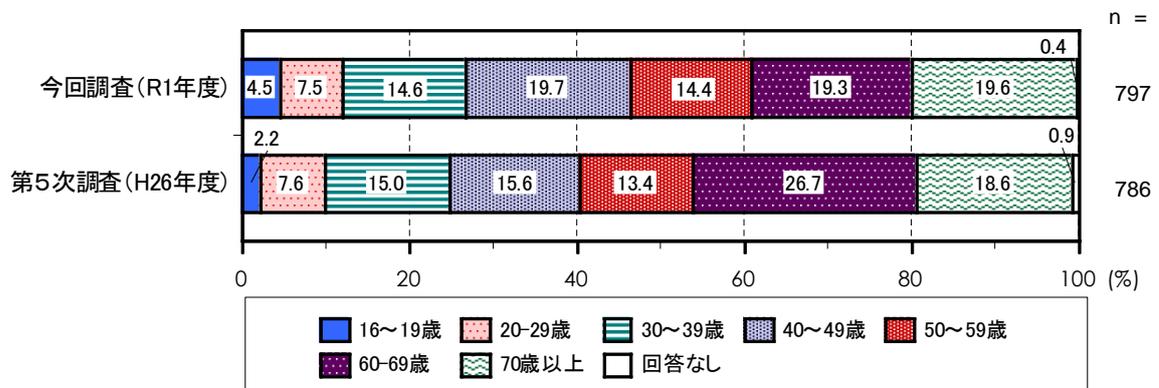
◆回答者の年齢は、40歳代、60歳代、70歳以上割合が高くなっています。

- 回答者の年齢は、「40～49歳」が19.7%、「70歳以上」が19.6%、「60～69歳」が19.3%と続いています。
- 第5次調査と比較すると、60歳以上の割合が低くなっています。

図表 2 回答者の年齢



図表 3 回答者の年齢（経年比較）



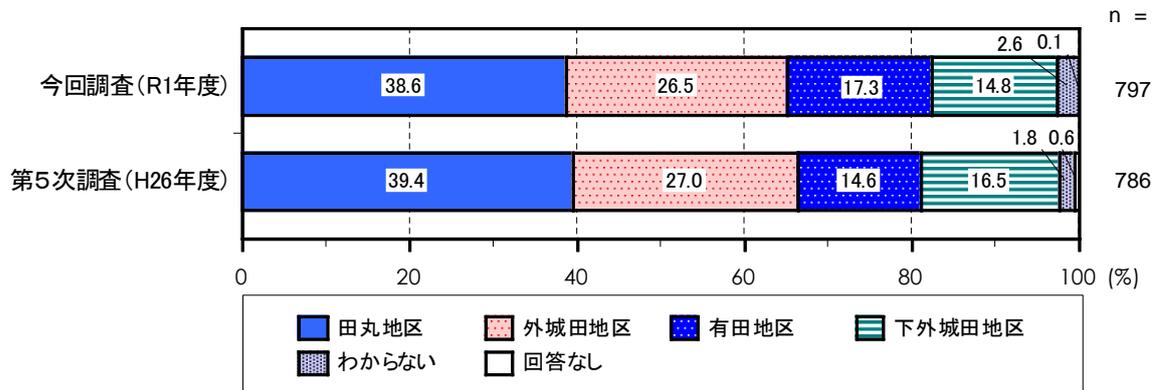
### ③居住地区

問2 あなたがお住まいの地区を教えてください。

#### ◆回答者の居住地区は、田丸地区、外城田地区が多くなっています。

- 回答者の住まいは、「田丸地区」が38.6%、「外城田地区」26.5%、「有田地区」が17.3%、「下外城田地区」が14.8%と続いています。また、「わからない」と回答している人も2.6%います。
- 第5次調査と比較しても、大きな傾向の変化はありません。

図表 4 回答者の居住地区（経年比較）



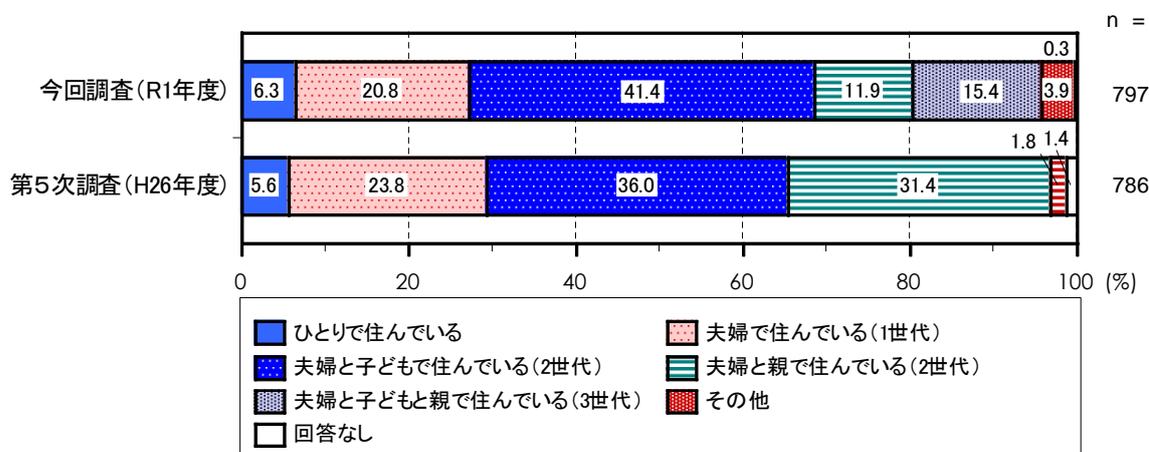
#### ④家族形態

問3 あなたのお宅に現在一緒に住んでいる家族の形態を教えてください。

##### ◆同居の家族形態は、「夫婦と子どもで住んでいる（2世代）」が最も多くなっています。

- 回答者の同居している家族の形態は、「夫婦と子どもで住んでいる（2世代）」が41.4%と最も多く、「夫婦で住んでいる（1世代）」が20.8%、「夫婦と子どもと親で住んでいる（3世代）」が15.4%、「夫婦と親で住んでいる（2世代）」が11.9%、「ひとりで住んでいる」が6.3%と続いています。
- 第5次調査と比較すると、「夫婦と子どもで住んでいる（2世代）」がやや多くなっています。

図表5 回答者の家族形態（経年比較）



※今回調査は「夫婦と親で住んでいる（2世代）」「夫婦と子どもと親で住んでいる（3世代）」に分かれているが、第5次調査は「2世帯以上同居で住んでいる」の選択肢のみである。

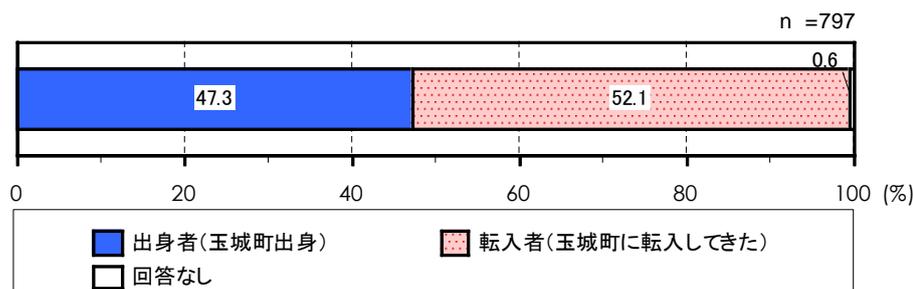
#### ⑤出身者か転入者か

問4 あなたは、玉城町の出身者か、それとも転入者かを教えてください。

##### ◆玉城町の出身者と転入者はほぼ半々となっています。

- 玉城町の出身者か、転入者かを訪ねたところ、転入者が52.1%、「出身者」が47.3%とほぼ半々の状況です。

図表6 出身者か転入者か



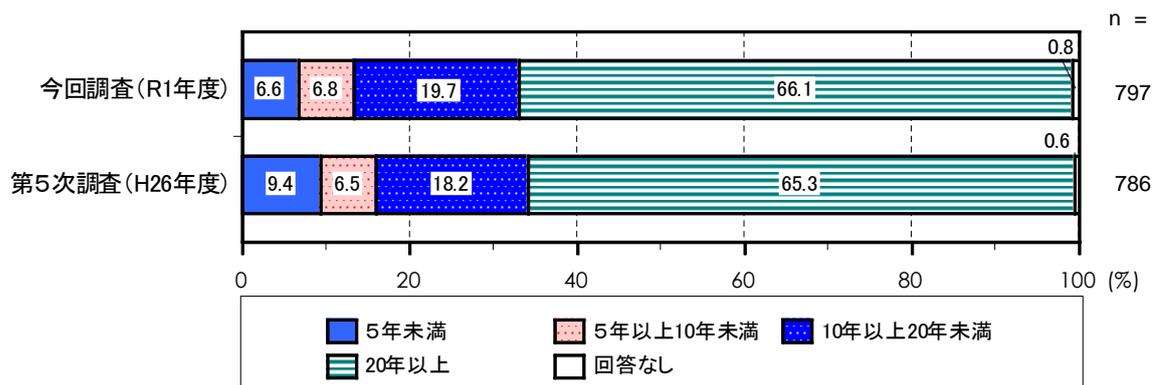
## ⑥ 居住期間

問 5 あなたが玉城町に住んでいる期間（途中転出した期間は除く）を教えてください。

### ◆玉城町での居住期間は「20年以上」が7割弱で最も多くなっています。

- 玉城町での居住期間は「20年以上」が66.1%と最も多く、「10年以上20年未満」が19.7%、「5年以上10年未満」が6.8%、「5年未満」が6.6%と続いています。
- 第5次調査と比較しても大きな傾向の変化はありません。

図表 7 回答者の居住期間（経年比較）



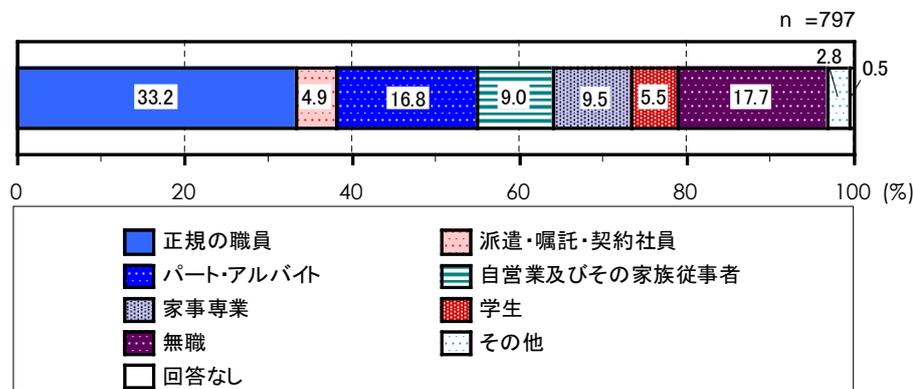
## ⑦ 職業（雇用形態）

問 6 あなたの職業（雇用形態）を教えてください。

### ◆回答者の職業（雇用形態）は、「正規の職員」が最も多く、“有職者”が6割強となっています。

- 回答者の職業（雇用形態）は、「正規の職員」が33.2%と最も多く、「無職」17.7%、「パート・アルバイト」が16.8%と続いています。
- 「正規の職員」「派遣・嘱託・契約社員」「パート・アルバイト」「自営業及びその家族従事者」の“有職者”が63.9%、「家事専業」「学生」「無職」の“仕事をしていない人”が32.7%となっています。

図表 8 回答者の職業（雇用形態）



玉城町の住みやすさについておたずねします。

(2) 住みやすさについて

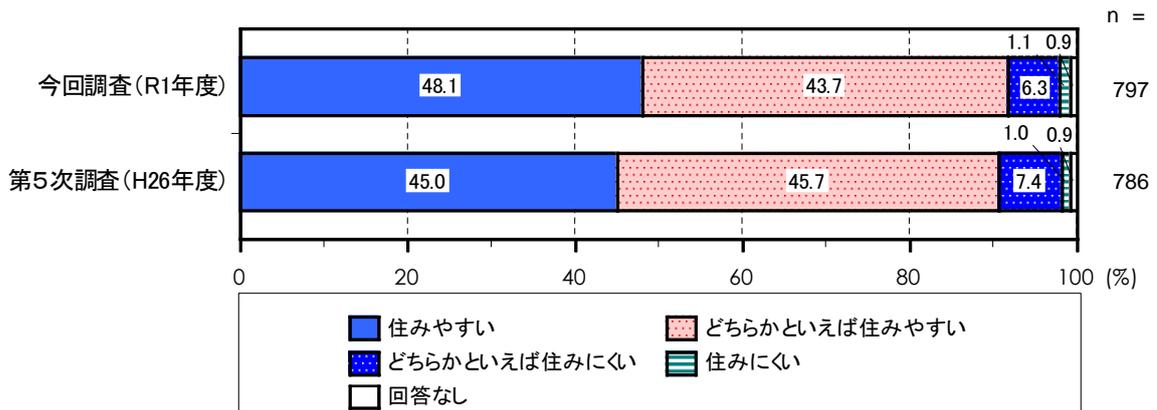
①住みやすさ

問7 あなたにとって、玉城町は住みやすいところですか。

◆「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を合わせた9割超が“住みやすい”と感じています。

- 玉城町の住みやすさについて、「住みやすい」が48.1%と最も多く、「どちらかといえば住みやすい」43.7%を合わせると91.8%が“住みやすい”と感じています。
- 一方、「どちらかといえば住みにくい」が6.3%、「住みにくい」が1.1%であり、7.4%が“住みにくい”と回答しています。
- 第5次調査と比較すると、「住みやすい」が最も多くなっていますが、9割以上が“住みやすい”と回答しており、大きな傾向の変化はありません。

図表 9 住みやすさ（経年比較）

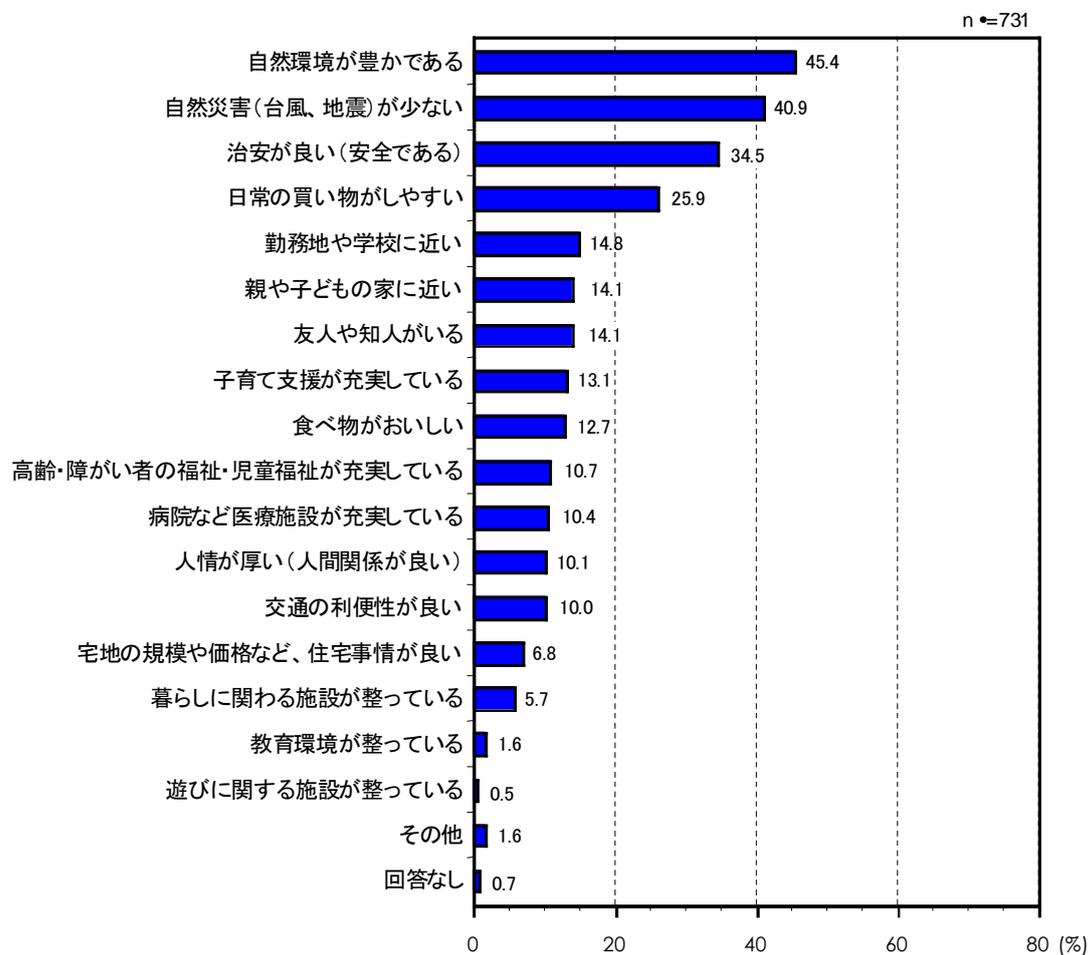


〈問 7-1〉 問 7 で「1. 住みやすい」、「2. どちらかといえば住みやすい」と回答された方にお聞きします。あなたが住みやすいと思う理由は何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆住みやすいと思う理由は、自然環境が豊かであること、災害が少ないこと、治安がよいこと、日常の買い物がしやすいことが多くなっています。

○ 問 7 で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した 731 名の方に、住みやすいと思う理由について尋ねたところ、「自然環境が豊かである」が 45.4%、「自然災害（台風、地震）が少ない」が 40.9%、「治安が良い（安全である）」が 34.5%、「日常の買い物がしやすい」が 25.9%と続いています。自然環境の豊かさ、災害が少ないこと、治安がよいこと、日常の買い物がしやすい利便性等が挙げられています。

図表 10 住みやすいと思う理由

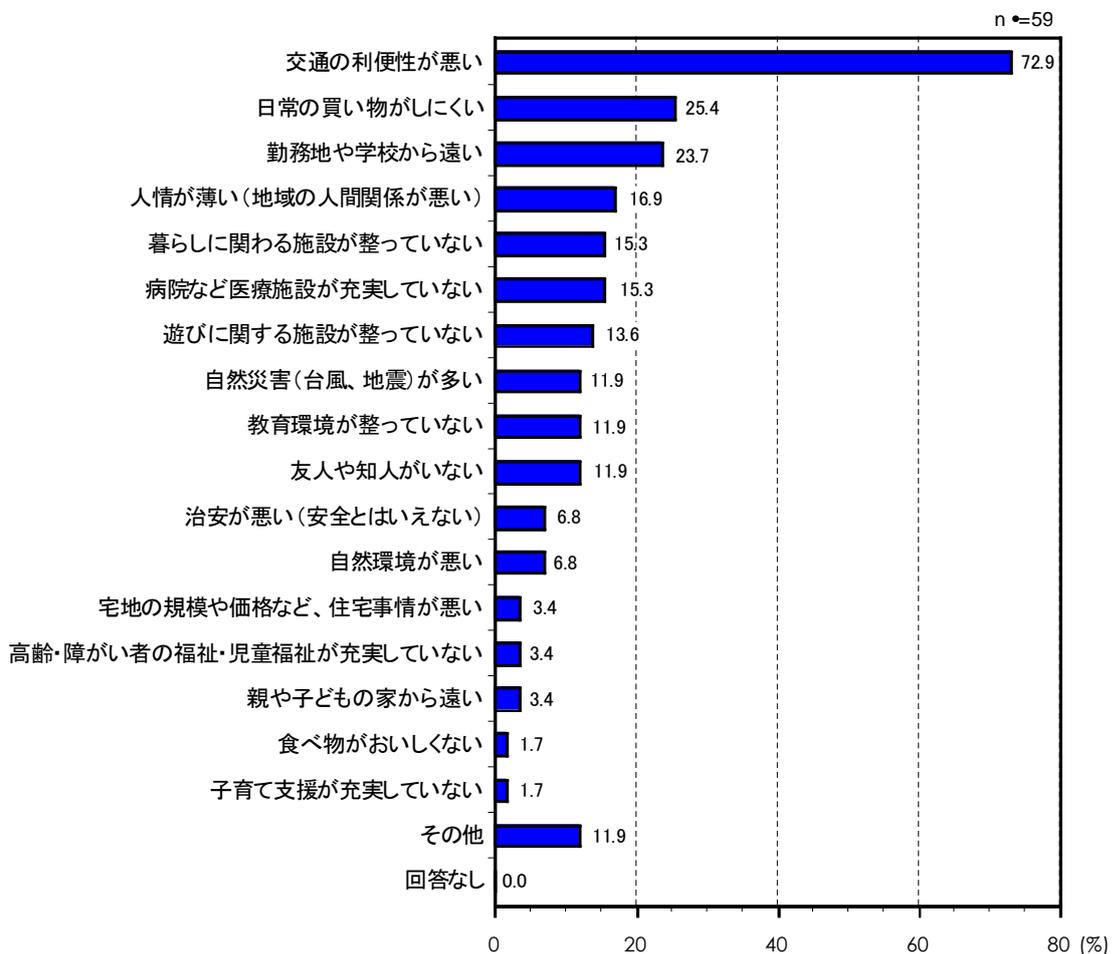


〈問 7-2〉 問 7 で「3. どちらかといえば住みにくい」、「4. 住みにくい」と回答された方にお聞きします。あなたが住みにくいと思う理由は何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆住みにくいと思う理由は、交通の利便性が7割強を占めています。

○ 問7で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した59名の方に、住みにくいと思う理由について尋ねたところ、「交通の利便性が悪い」が72.9%と最も多くなっています。次いで、「日常の買い物がしにくい」が25.4%、「勤務地や学校から遠い」が23.7%で多くっており、通勤・通学などの交通の不便さ、日常生活での買い物の不便さが特に多くなっています。

図表 11 住みにくいと思う理由



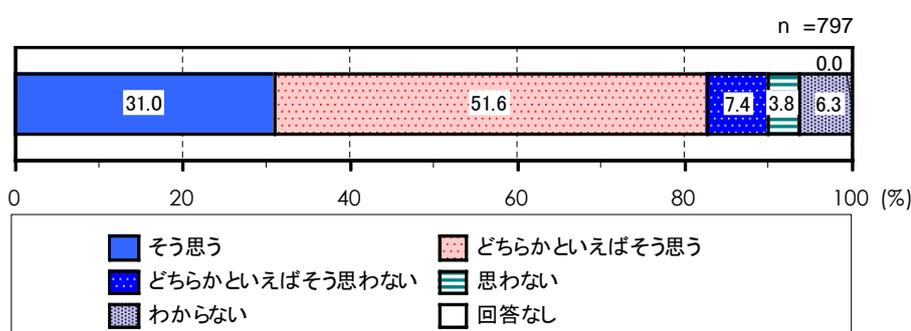
## ②まちが好きか

問8 あなたは「玉城町」のまちが好きだ（自慢できる）と思いますか。

◆「玉城町」が好きだ・自慢できるについて「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した方は8割強を占めています。

- 「玉城町」のまちが好きだ（自慢できる）と思うかを訪ねたこと、「そう思う」が31.0%、「どちらかといえばそう思う」が51.6%で、合わせると82.6%が“「玉城町」が好きだ・自慢できる”と回答しています。
- 一方で、「どちらかといえばそう思わない」が7.4%、「思わない」が3.8%で、合わせると11.2%が“「玉城町」が好きだ・自慢できるとは思わない”と回答しています。

図表12 まちが好きか



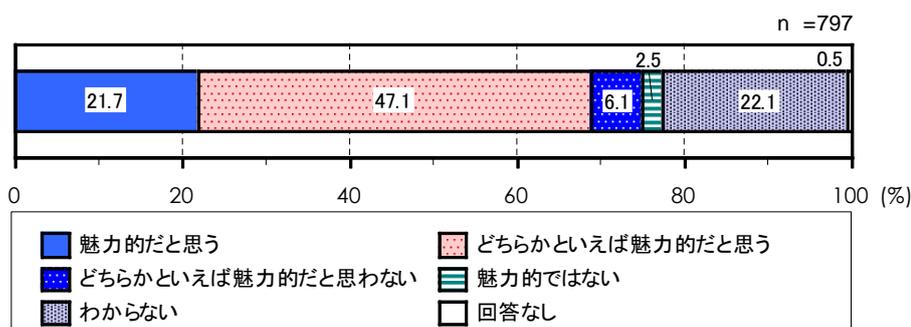
## ③子育てする場所として魅力的か

問9 あなたは玉城町が子育てする場所として魅力的だと思いますか。

◆玉城町が子育てする場所として「魅力的だと思う」「どちらかといえば魅力的だと思う」と回答した人は68.8%を占めています。

- 玉城町が子育てする場所として「魅力的だと思う」が21.7%、「どちらかといえば魅力的だと思う」が47.1%であり、合わせると68.8%を占めています。一方、「どちらかといえば魅力的だと思わない」が6.1%、「魅力的ではない」が2.5%で、合わせると8.6%となっています。
- また、「わからない」と回答している人は22.1%あります。

図表13 子育てする場所として魅力的か



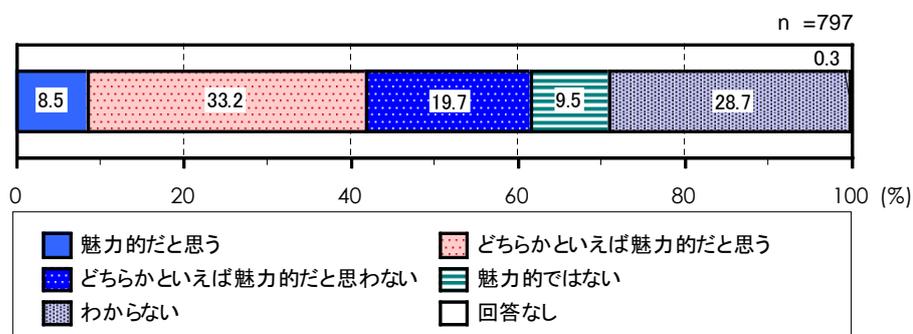
#### ④働く場所として魅力的か

問 10 あなたは玉城町が働く場所として魅力的だと思いますか。

◆玉城町が働く場所として「魅力的だと思う」「どちらかといえば魅力的だと思う」を合わせた“働く場として魅力的”と回答した人は 41.7%、「どちらかといえば魅力的ではない」「魅力的ではない」働く場所として魅力的ではないと回答した人は 29.2%となっています。

- 玉城町が働く場所として「どちらかといえば魅力的だと思う」が 33.2%と最も多く、「魅力的だと思う」が 8.5%を合わせると、41.7%が“魅力的だと思う”と回答しています。
- 一方で、「どちらかといえば魅力的ではない」が 19.7%、「魅力的ではない」が 9.5%を合わせると 29.2%が“魅力的ではない”と回答しています。
- さらに、「わからない」が 28.7%いる状況です。

図表 14 働く場所として魅力的か



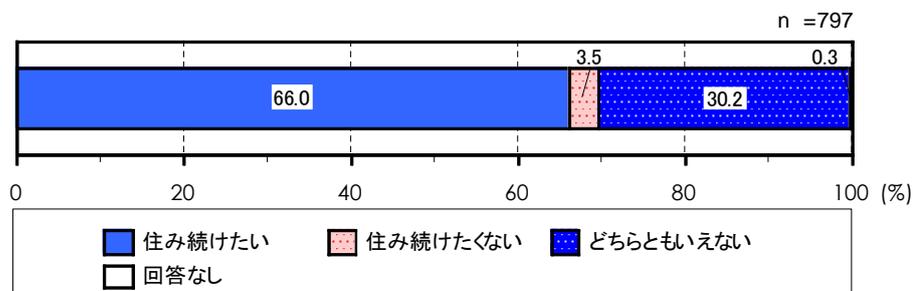
#### ⑤今後の居留意向

問 11 あなたは玉城町に住み続けたいと思いますか。

◆今後玉城町に住み続けたいと考えている人は7割弱となっています。

- 今後、玉城町に住み続けたいかは、「住み続けたい」が 66.0%と最も多く、「住み続けたくない」は 3.5%とかなり低くなっています。
- また「どちらともいえない」が 30.2%となっています。

図表 15 今後の居留意向



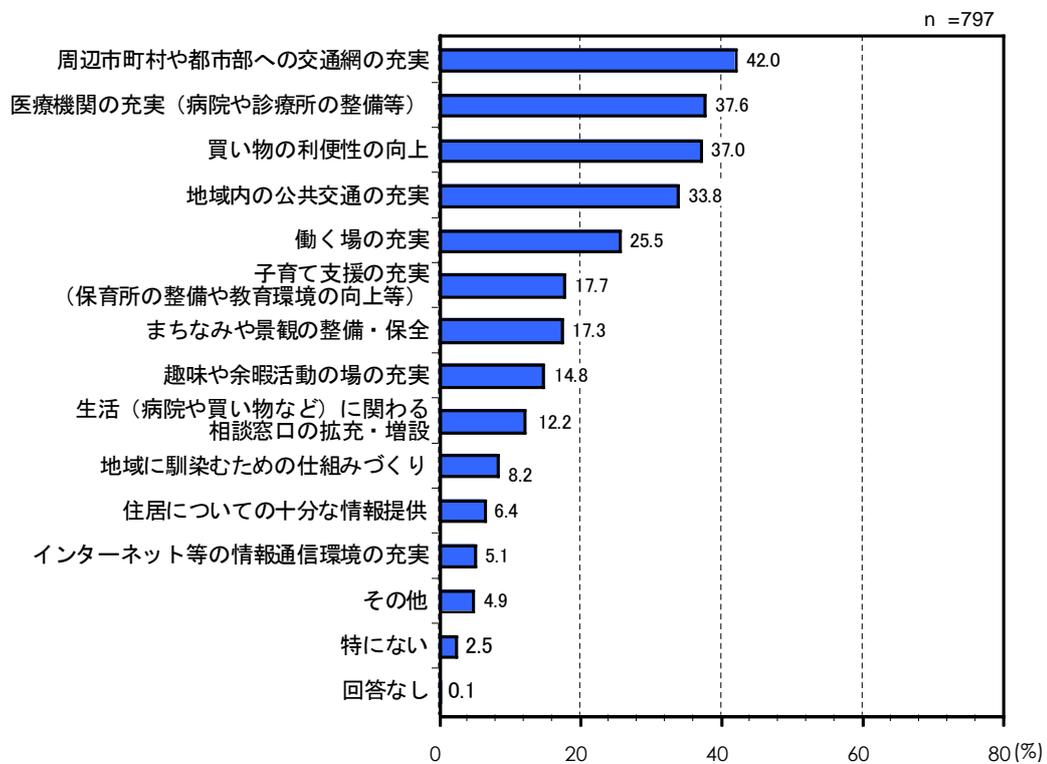
## ⑥住み続けるために必要なこと

問 12 あなたにとって、玉城町に住み続けるために必要なことは何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆玉城町に住み続けるために必要なことは、交通網の充実、医療機関の充実、買い物の利便性、公共交通機関の充実、働く場の充実が特に求められています。

○ 玉城町に住み続けるために必要なことは、「周辺市町村や都市部への交通網の整備」が42.0%と最も多く、「医療機関の充実」37.6%、「買い物の利便性の向上」が37.0%、地域内の公共交通の充実が33.8%、「働く場の充実」が25.5%と続いています。

図表 16 住み続けるために必要なこと



玉城町の暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度についておたずねします。

### (3) 施策の満足度と重要度

問 13 あなたは、次の(1)～(42)の各項目について、今の状態についてどれくらい満足していますか？「満足度」として、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

また、(1)～(42)の各項目について、今後、町がまちづくりを進めるにあたってどれくらい重要だと思われますか？ 今後のまちづくりの「重要度」として、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

「満足」と「やや満足」と回答した者の合計の割合を『満足度』とします。

「重要」と「やや重要」と回答した者の合計の割合を『重要度』とします。

①満足度・重要度

- ◆「上水道の維持管理や水の安定供給（満足度 61.9%）」と最も高く、「健康教室や各種検診の取組（満足度 58.6%）」「下水道の整備など下水処理対策（満足度 56.7%）」「安心して子育てができる環境（51.8%）」は満足度が高くなっています。
- ◆一方で、「町内企業等への就労環境の改善に向けた啓発等の取組（満足度 9.4%）」「観光の振興（満足度 11.7%）」「低所得者へ社会保障の取組（満足度 13.6%）」「秩序ある土地利用、開発指導（13.8%）」については満足度が低くなっています。
  
- ◆重要度をみると、「病院・医療体制について（重要度 88.2%）」「防災対策の取組（重要度 87.3%）」「消防・救急対策の取組（重要度 84.9%）」など、医療、防災、救急・消防の重要度が高くなっています。
- ◆一方で、「公民館などでの生涯学習（重要度 53.2%）」「スポーツ環境や機会づくり（重要度 54.5%）」「文化・芸術にかかわる機会づくり（54.6%）」など、生涯学習、スポーツ、文化をあまり重要とは考えていない方が多くなっています。

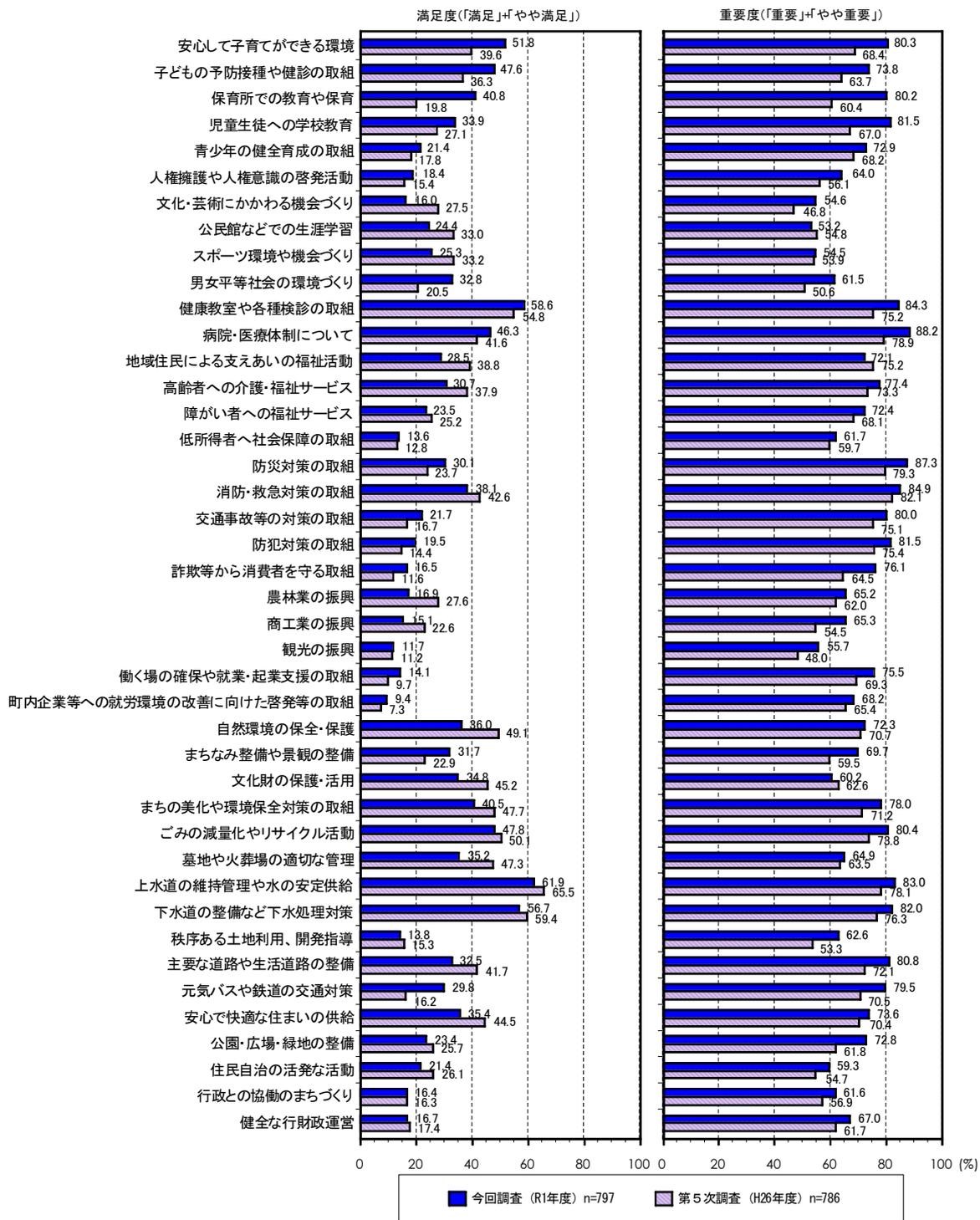
図表 17 【満足度】（「満足」＋「やや満足」）

上位項目			下位項目		
		%			%
1	上水道の維持管理や水の安定供給	61.9	1	町内企業等への就労環境の改善に向けた啓発等の取組	9.4
2	健康教室や各種検診の取組	58.6	2	観光の振興	11.7
3	下水道の整備など下水処理対策	56.7	3	低所得者へ社会保障の取組	13.6
4	安心して子育てができる環境	51.8	4	秩序ある土地利用、開発指導	13.8
5	ごみの減量化やリサイクル活動	47.8	5	働く場の確保や就業・起業支援の取組	14.1
6	子どもの予防接種や健診の取組	47.6	6	商工業の振興	15.1
7	病院・医療体制について	46.3	7	文化・芸術にかかわる機会づくり	16.0
8	保育所での教育や保育	40.8	8	行政との協働のまちづくり	16.4
9	まちの美化や環境保全対策の取組	40.5	9	詐欺等から消費者を守る取組	16.5
10	消防・救急対策の取組	38.1	10	健全な行財政運営	16.7

図表 18 【重要度】（「重要」＋「やや重要」）

上位項目			下位項目		
		%			%
1	病院・医療体制について	88.2	1	公民館などでの生涯学習	53.2
2	防災対策の取組	87.3	2	スポーツ環境や機会づくり	54.5
3	消防・救急対策の取組	84.9	3	文化・芸術にかかわる機会づくり	54.6
4	健康教室や各種検診の取組	84.3	4	観光の振興	55.7
5	上水道の維持管理や水の安定供給	83.0	5	住民自治の活発な活動	59.3
6	下水道の整備など下水処理対策	82.0	6	文化財の保護・活用	60.2
7	児童生徒への学校教育	81.5	7	男女平等社会の環境づくり	61.5
8	防犯対策の取組	81.5	8	行政との協働のまちづくり	61.6
9	主要な道路や生活道路の整備	80.8	9	低所得者へ社会保障の取組	61.7
10	ごみの減量化やリサイクル活動	80.4	10	秩序ある土地利用、開発指導	62.6

図表 19 満足度と重要度（経年比較）



図表 20 満足度（経年比較）

		今回調査項目	「満足」+「やや満足」			差
			今回調査 (R1)	第5次調査 (H26)	計画 目標値	
1 安心して子供を産み育てられるまちについて	1	安心して子育てができる環境	51.8	39.6		12.2
	2	子どもの予防接種や健診の取組	47.6	36.3		11.3
2 次代の人づくりにつながる教育のまちについて	3	保育所での教育や保育	40.8	19.8		21.0
	4	児童生徒への学校教育	33.9	27.1		6.8
	5	青少年の健全育成の取組	21.4	17.8		3.6
3 多世代が交流し、いきがいと活躍の場があるまちについて	6	人権擁護や人権意識の啓発活動	18.4	15.4	20	3.0
	7	文化・芸術にかかわる機会づくり	16	27.5		-11.5
	8	公民館などでの生涯学習	24.4	33.0		-8.6
	9	スポーツ環境や機会づくり	25.3	33.2		-7.9
4 自ら健康づくりに取り組めるまちについて	10	男女平等社会の環境づくり	32.8	20.5		12.3
	11	健康教室や各種検診の取組	58.6	54.8		3.8
5 ボランティア活動とサービスとで支える福祉のまちについて	12	病院・医療体制について	46.3	41.6	45	4.7
	13	地域住民による支えあいの福祉活動	28.5	38.8		-10.3
6 地域が一体となって生活安全対策に取り組むまちについて	14	高齢者への介護・福祉サービス	30.7	37.9		-7.2
	15	障がい者への福祉サービス	23.5	25.2		-1.7
	16	低所得者へ社会保障の取組	13.6	12.8		0.8
7 産業の連携により、地域経済を活気づけるまちについて	17	防災対策の取組	30.1	23.7		6.4
	18	消防・救急対策の取組	38.1	42.6		-4.5
	19	交通事故等の対策の取組	21.7	16.7		5.0
	20	防犯対策の取組	19.5	14.4		5.1
	21	詐欺等から消費者を守る取組	16.5	11.6	20	4.9
8 魅力ある雇用の場が確保されるまちについて	22	農林業の振興	16.9	27.6		-10.7
	23	商工業の振興	15.1	19.8		-4.7
				22.6		-7.5
	24	観光の振興	11.7	11.2		0.5
9 自然を守り、景観と文化資源を生かすまちについて	25	働く場の確保や就業・起業支援の取組	14.1	9.7	10	4.4
	26	町内企業等への就労環境の改善に向けた啓発等の取組	9.4	7.3		2.1
10 美しい田園環境と調和するまちについて	27	自然環境の保全・保護	36	49.1		-13.1
	28	まちなみ整備や景観の整備	31.7	22.9	30	8.8
	29	文化財の保護・活用	34.8	45.2		-10.4
11 都市基盤を適切に維持・更新するまちについて	30	まちの美化や環境保全対策の取組	40.5	47.7	50	-7.2
	31	ごみの減量化やリサイクル活動	47.8	50.1		-2.3
	32	墓地や火葬場の適切な管理	35.2	47.3		-12.1
	33	上水道の維持管理や水の安定供給	61.9	65.5	75	-3.6
	34	下水道の整備など下水処理対策	56.7	59.4		-2.7
12 協働のもとで進める効率的なまちづくり（行財政経営など）について	35	秩序ある土地利用、開発指導	13.8	15.3		-1.5
	36	主要な道路や生活道路の整備	32.5	41.7		-9.2
	37	元気バスや鉄道の交通対策	29.8	16.2		13.6
	38	安心して快適な住まいの供給	35.4	44.5	50	-9.1
12 協働のもとで進める効率的なまちづくり（行財政経営など）について	39	公園・広場・緑地の整備	23.4	25.7	25.7	-2.3
	40	住民自治の活発な活動	21.4	26.1		-4.7
	41	行政との協働のまちづくり	16.4	18.7		-2.3
				16.3	20	0.1
	42	健全な行財政運営	16.7	14.1		2.6
				17.4		-0.7

図表 21 重要度（経年比較）

		今回調査項目	「重要」「やや重要」		差
			今回調査 (R1)	第5次調査 (H26)	
1	安心して子供を産み育てられるまちについて	1 安心して子育てができる環境	80.3	68.4	11.9
		2 子どもの予防接種や健診の取組	73.8	63.7	10.1
2	次代の人づくりにつながる教育のまちについて	3 保育所での教育や保育	80.2	60.4	19.8
		4 児童生徒への学校教育	81.5	67.0	14.5
		5 青少年の健全育成の取組	72.9	68.2	4.7
		6 人権擁護や人権意識の啓発活動	64	56.1	7.9
3	多世代が交流し、いきがいと活躍の場があるまちについて	7 文化・芸術にかかわる機会づくり	54.6	46.8	7.8
		8 公民館などでの生涯学習	53.2	54.8	-1.6
		9 スポーツ環境や機会づくり	54.5	53.9	0.6
		10 男女平等社会の環境づくり	61.5	50.6	10.9
4	自ら健康づくりに取り組めるまちについて	11 健康教室や各種検診の取組	84.3	75.2	9.1
		12 病院・医療体制について	88.2	78.9	9.3
5	ボランティア活動とサービスとで支える福祉のまちについて	13 地域住民による支えあいの福祉活動	72.1	75.2	-3.1
		14 高齢者への介護・福祉サービス	77.4	73.3	4.1
		15 障がい者への福祉サービス	72.4	68.1	4.3
		16 低所得者へ社会保障の取組	61.7	59.7	2.0
6	地域が一体となって生活安全対策に取り組むまちについて	17 防災対策の取組	87.3	79.3	8.0
		18 消防・救急対策の取組	84.9	82.1	2.8
		19 交通事故等の対策の取組	80	75.1	4.9
		20 防犯対策の取組	81.5	75.4	6.1
		21 詐欺等から消費者を守る取組	76.1	64.5	11.6
7	産業の連携により、地域経済を活気づけるまちについて	22 農林業の振興	65.2	62.0	3.2
		23 商工業の振興	65.3	57.6	7.7
				54.5	10.8
		24 観光の振興	55.7	48.0	7.7
8	魅力ある雇用の場が確保されるまちについて	25 働く場の確保や就業・起業支援の取組	75.5	69.3	6.2
		26 町内企業等への就労環境の改善に向けた啓発等の取組	68.2	65.4	2.8
9	自然を守り、景観と文化資源を生かすまちについて	27 自然環境の保全・保護	72.3	70.7	1.6
		28 まちなみ整備や景観の整備	69.7	59.5	10.2
		29 文化財の保護・活用	60.2	62.6	-2.4
10	美しい田園環境と調和するまちについて	30 まちの美化や環境保全対策の取組	78	71.2	6.8
		31 ごみの減量化やリサイクル活動	80.4	73.8	6.6
		32 墓地や火葬場の適切な管理	64.9	63.5	1.4
		33 上水道の維持管理や水の安定供給	83	78.1	4.9
		34 下水道の整備など下水処理対策	82	76.3	5.7
11	都市基盤を適切に維持・更新するまちについて	35 秩序ある土地利用、開発指導	62.6	53.3	9.3
		36 主要な道路や生活道路の整備	80.8	72.1	8.7
		37 元気バスや鉄道の交通対策	79.5	70.5	9.0
		38 安心で快適な住まいの供給	73.6	70.4	3.2
		39 公園・広場・緑地の整備	72.8	61.8	11.0
12	協働のもとで進める効率的なまちづくり（行財政経営など）について	40 住民自治の活発な活動	59.3	54.7	4.6
		41 行政との協働のまちづくり	61.6	58.0	3.6
				56.9	4.7
		42 健全な行財政運営	67	58.4	8.6
			61.7	5.3	

## ②評点による満足度と重要度

「満足」「重要」を＋2点、「やや満足」「やや重要」を＋1点、「どちらとも言えない」を0点、「やや不満」「あまり重要ではない」を－1点、「不満」「重要でない」を－2点とした5段階評価で得点を付け、42項目ごとに「わからない」「無回答」を除く母数での平均（評点）を算出しています。

### 【満足度の評点の結果】

- ◆「子どもの健診」「上水道」「健康教室」「子育て環境」などの満足度の評点が高くなっています。一方で、「就労環境改善の取組」「観光振興」「公園等の整備」「就業・起業支援」などは満足度の評点が低くなっています。

### 【重要度の評点の結果】

- ◆「子育て環境」「学校教育」「防災」「医療」などの重要度の評点が高くなっています。一方で「生涯学習」「スポーツ」「観光振興」「文化・芸術」などは重要度の評点が低くなっています。

図表 22 【満足度評点】

上位項目			下位項目		
		%			%
1	子どもの予防接種や健診の取組	0.97	1	町内企業等への就労環境の改善に向けた啓発等の取組	-0.20
2	上水道の維持管理や水の安定供給	0.95	2	観光の振興	-0.17
3	健康教室や各種検診の取組	0.84	3	公園・広場・緑地の整備	-0.14
4	安心して子育てができる環境	0.81	4	働く場の確保や就業・起業支援の取組	-0.12
5	下水道の整備など下水処理対策	0.80	5	元気バスや鉄道の交通対策	0.00
6	保育所での教育や保育	0.75	6	商工業の振興	0.01
7	児童生徒への学校教育	0.56	7	秩序ある土地利用、開発指導	0.01
8	墓地や火葬場の適切な管理	0.56	8	農林業の振興	0.07
9	ごみの減量化やリサイクル活動	0.54	9	防犯対策の取組	0.10
10	消防・救急対策の取組	0.50	10	主要な道路や生活道路の整備	0.10

図表 23 【重要度評点】

上位項目			下位項目		
		%			%
1	安心して子育てができる環境	1.63	1	公民館などでの生涯学習	0.72
2	児童生徒への学校教育	1.60	2	スポーツ環境や機会づくり	0.75
3	防災対策の取組	1.60	3	観光の振興	0.81
4	病院・医療体制について	1.59	4	文化・芸術にかかわる機会づくり	0.83
5	保育所での教育や保育	1.53	5	男女平等社会の環境づくり	0.86
6	消防・救急対策の取組	1.52	6	文化財の保護・活用	0.87
7	上水道の維持管理や水の安定供給	1.52	7	住民自治の活発な活動	0.98
8	子どもの予防接種や健診の取組	1.49	8	低所得者へ社会保障の取組	1.02
9	下水道の整備など下水処理対策	1.48	9	商工業の振興	1.06
10	健康教室や各種検診の取組	1.45		墓地や火葬場の適切な管理	1.06
				行政との協働のまちづくり	1.06

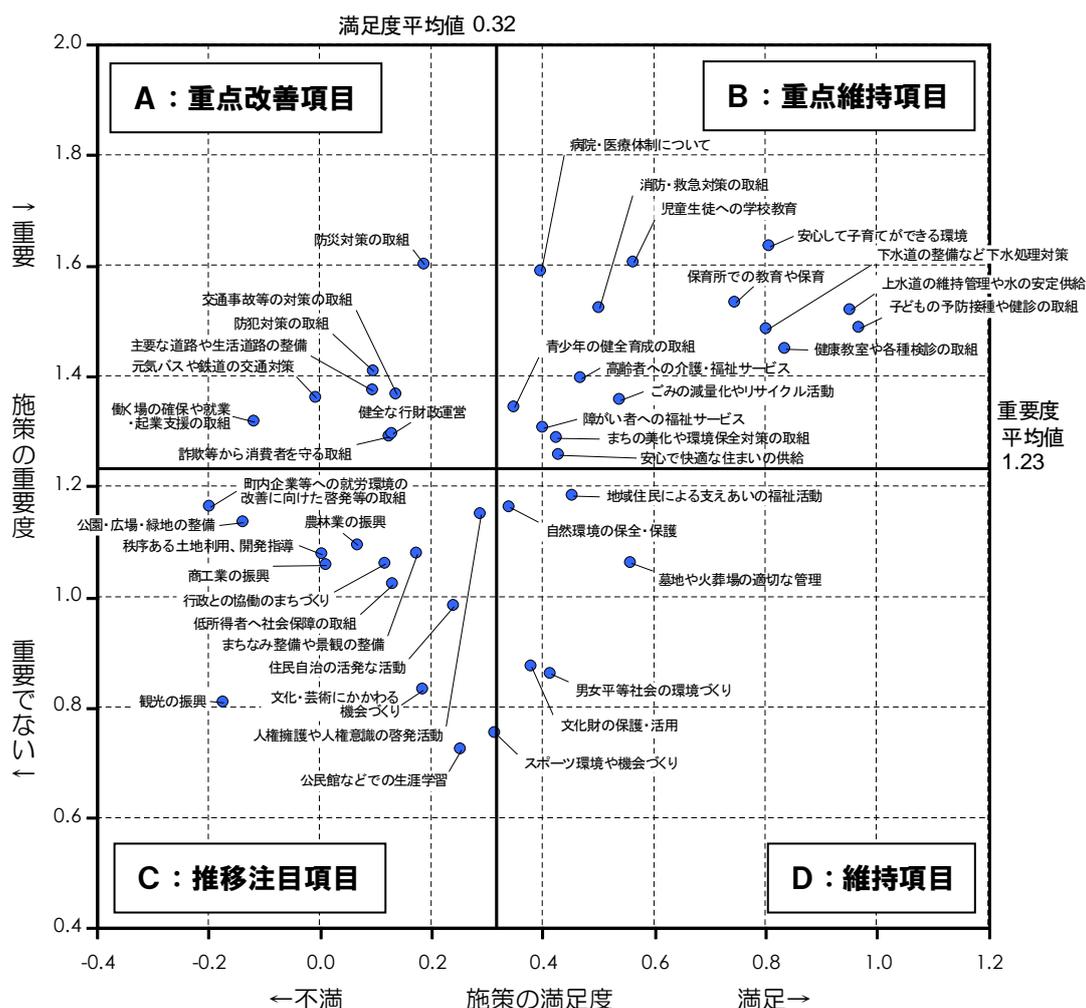
### ③満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係を把握するため、42項目全体の評点の平均値（満足度：0.32点、重要度：1.23点）をもとに、42項目を【重点改善項目】、【重点維持項目】、【推移注目項目】、【維持項目】の4区分で分類しました。

A：重点改善項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 満足度が低く、重要度が高い</li> <li>● 最優先で改善が求められるもの</li> </ul>
B：重点維持項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 満足度が高く、重要度も高い</li> <li>● 概ね満足が得られているが、引き続き維持・拡充していることがもめられるもの</li> </ul>
C：推移注目項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 満足度が低く、重要度も低い</li> <li>● 重要課題ではないが、今後の推移を注目していくことがもめられるもの</li> </ul>
D：維持項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 満足度が高く、重要度が低い</li> </ul>

◆「防災」「防犯」「道路」「交通事故対策」「公共交通対策」「就業・起業支援」などを最優先に改善していくことが求められます。

図表 24 重要度と満足度の関係



図表 25 重要度と満足度の関係（経年比較）

		満足度			重要度		
		今回調査 (R1)	第5次調査 (H26)	差	今回調査 (R1)	第5次調査 (H26)	差
1 安心して子供を産み育てられるまちについて	1 安心して子育てができる環境	0.81	0.70	0.11	1.63	1.36	0.27
	2 子どもの予防接種や健診の取組	0.97	0.76	0.21	1.49	1.29	0.20
2 次代の人づくりにつながる教育のまちについて	3 保育所での教育や保育	0.75	0.22	0.53	1.53	1.1	0.43
	4 児童生徒への学校教育	0.56	0.36	0.20	1.60	1.31	0.29
	5 青少年の健全育成の取組	0.35	0.03	0.32	1.34	1.29	0.05
	6 人権擁護や人権意識の啓発活動	0.29	0.11	0.18	1.15	1.01	0.14
3 多世代が交流し、いきがいと活躍の場があるまちについて	7 文化・芸術にかかわる機会づくり	0.19	0.24	-0.05	0.83	0.66	0.17
	8 公民館などでの生涯学習	0.26	0.26	-0.00	0.72	0.82	-0.10
	9 スポーツ環境や機会づくり	0.32	0.33	-0.01	0.75	0.81	-0.06
	10 男女平等社会の環境づくり	0.42	0.27	0.15	0.86	0.83	0.03
4 自ら健康づくりに取り組めるまちについて	11 健康教室や各種検診の取組	0.84	0.75	0.09	1.45	1.35	0.10
	12 病院・医療体制について	0.40	0.44	-0.04	1.59	1.49	0.10
5 ボランティア活動とサービスなどで支える福祉のまちについて	13 地域住民による支えあいの福祉活動	0.46	0.48	-0.02	1.18	1.36	-0.18
	14 高齢者への介護・福祉サービス	0.47	0.52	-0.05	1.39	1.37	0.02
	15 障がい者への福祉サービス	0.40	0.39	0.01	1.30	1.3	0.00
	16 低所得者へ社会保障の取組	0.13	0.00	0.13	1.02	1.09	-0.07
6 地域が一体となって生活安全対策に取り組むまちについて	17 防災対策の取組	0.19	0.19	-0.00	1.60	1.54	0.06
	18 消防・救急対策の取組	0.50	0.57	-0.07	1.52	1.57	-0.05
	19 交通事故等の対策の取組	0.14	-0.09	0.23	1.37	1.4	-0.03
	20 防犯対策の取組	0.10	-0.03	0.13	1.41	1.45	-0.04
	21 詐欺等から消費者を守る取組	0.13	0.02	0.11	1.29	1.2	0.09
7 産業の連携により、地域経済を活気づけるまちについて	22 農林業の振興	0.07	0.20	-0.13	1.09	1.04	0.05
	23 商工業の振興	0.01	-0.19	0.20	1.06	0.93	0.13
	24 観光の振興	-0.17	-0.27	0.10	0.81	0.7	0.11
	25 働く場の確保や就業・起業支援の取組	-0.12	-0.40	0.28	1.32	1.3	0.02
8 魅力ある雇用の場が確保されるまちについて	26 町内企業等への就労環境の改善に向けた啓発等の取組	-0.20	-0.38	0.18	1.16	1.22	-0.06
	27 自然環境の保全・保護	0.34	0.61	-0.27	1.16	1.19	-0.03
9 自然を守り、景観と文化資源を生かすまちについて	28 まちなみ整備や景観の整備	0.18	0.16	0.02	1.08	0.97	0.11
	29 文化財の保護・活用	0.38	0.60	-0.22	0.87	1.02	-0.15
	30 まちの美化や環境保全対策の取組	0.43	0.50	-0.07	1.29	1.18	0.11
10 美しい田園環境と調和するまちについて	31 ごみの減量化やリサイクル活動	0.54	0.60	-0.06	1.36	1.3	0.06
	32 墓地や火葬場の適切な管理	0.56	0.77	-0.21	1.06	1.09	-0.03
	33 上水道の維持管理や水の安定供給	0.95	1.05	-0.10	1.52	1.46	0.06
	34 下水道の整備など下水処理対策	0.80	0.89	-0.09	1.48	1.44	0.04
11 都市基盤を適切に維持・更新するまちについて	35 秩序ある土地利用、開発指導	0.01	0.13	-0.12	1.08	0.99	0.09
	36 主要な道路や生活道路の整備	0.10	0.34	-0.24	1.37	1.21	0.16
	37 元気バスや鉄道の交通対策	-0.00	-0.55	0.55	1.36	1.25	0.11
	38 安心して快適な住まいの供給	0.43	0.58	-0.15	1.26	1.26	-0.00
	39 公園・広場・緑地の整備	-0.14	-0.05	-0.09	1.13	0.99	0.14
12 協働のもとで進める効率的なまちづくり（行財政経営など）について	40 住民自治の活発な活動	0.24	0.30	-0.06	0.98	0.94	0.04
	41 行政との協働のまちづくり	0.12	0.10	0.02	1.06	1.08	-0.02
	42 健全な行財政運営	0.13	0.02	0.11	1.29	1.11	0.18
			0.11	0.02		1.26	0.03

## 玉城町の将来のまちづくりについておたずねします。

### (4) めざすべきまちの将来イメージ

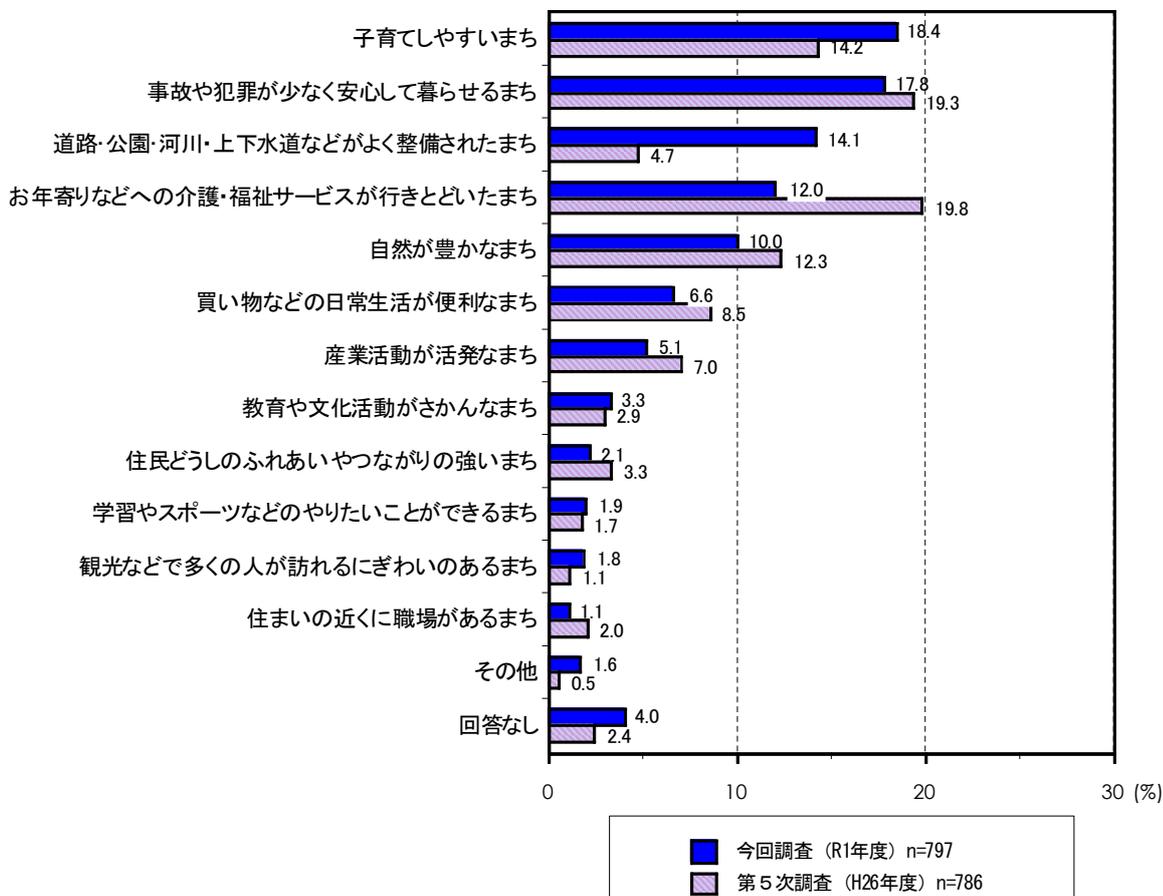
問 14 将来に向けて、玉城町はどのようなまちをめざすべきだと思いますか。次の中から、優先順位をつけて第3位まで選んで、下の欄に番号を記入してください。

#### 【優先順位 1 位のみ】

◆子育てしやすいまち、事故や犯罪が少なく安心して暮らせるまち、道路・公園・河川・上下水道がよく整備されたまち、介護・福祉サービスが行き届いたまち、自然が豊かなまちを将来のイメージとして望んでいます。

- めざすべきまちの将来イメージとして第1位にあげたものは、「子育てしやすいまち」が18.4%と最も多く、「事故や犯罪が少なく安心して暮らせるまち」が17.8%、「道路・公園・河川・上下水道などがよく整備されたまち」が14.1%、「お年寄りなどへの介護・福祉サービスが行きとどいたまち」が12.0%、「自然が豊かなまち」10.0%と続いています。
- 第5次調査と比較して、「道路・公園・河川・上下水道などがよく整備されたまち」が9.4ポイント上昇し、「お年寄りなどへの介護・福祉サービスが行きとどいたまち」が7.8ポイント下降しています。

図表 26 めざすべきまちの将来イメージ【優先順位 1 位】(経年比較)

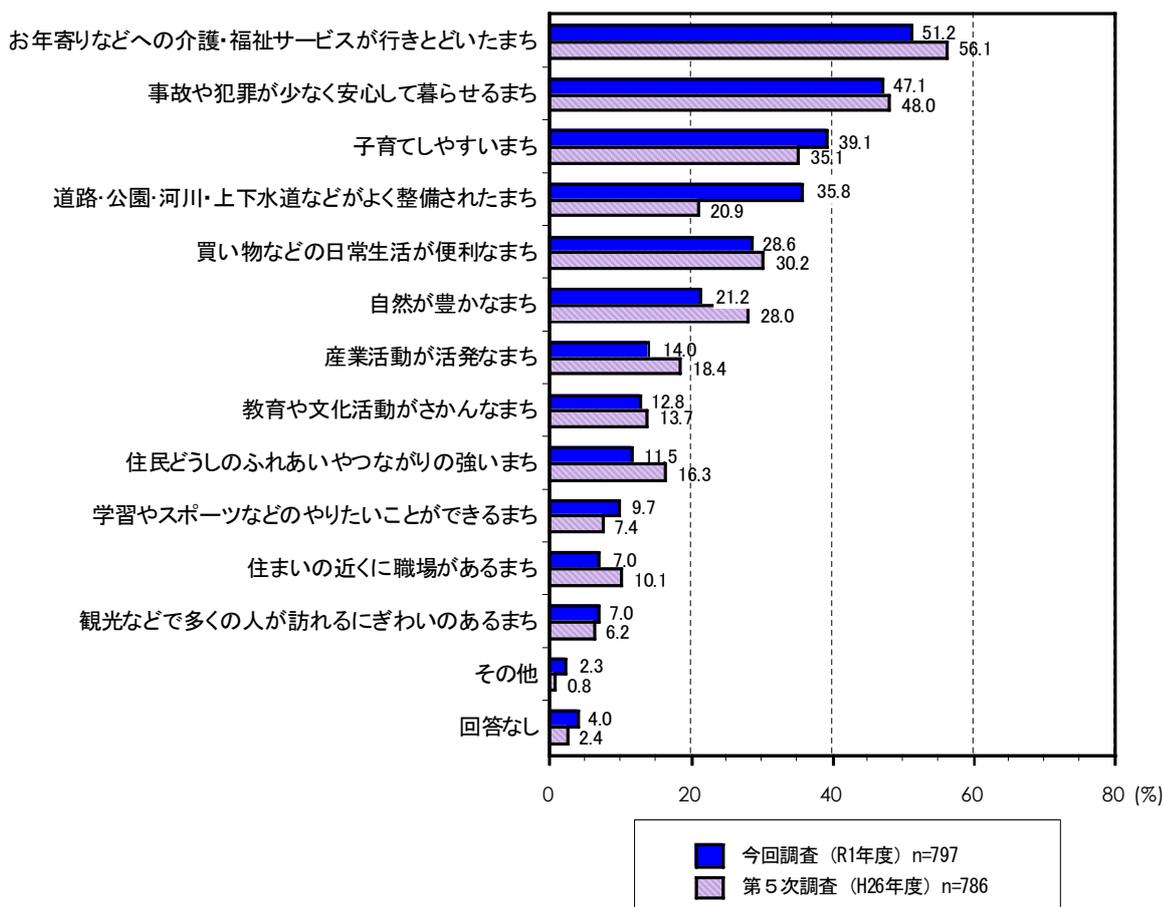


【優先順位 1～3位統合】

◆介護・福祉サービスが行き届いたまち、事故や犯罪が少なく安心して暮らせるまち、子育てしやすいまち、道路・公園・河川・上下水道がよく整備されたまちを将来のイメージとして望んでいます。

- めざすべきまちの将来イメージとして第1位から第3位にあげたものを統合すると、「お年寄りなどへの介護・福祉サービスが行きとどいたまち」が51.2%と半数を超えて最も多く、「事故や犯罪が少なく安心して暮らせるまち」が47.1%、「子育てしやすいまち」が39.1%、「道路・公園・河川・上下水道などがよく整備されたまち」が35.8%と続いています。
- 第5次調査と比較して、「道路・公園・河川・上下水道などがよく整備されたまち」が15.8ポイント上昇しています。

図表 27 めざすべきまちの将来イメージ【優先順位 1位～3位統合】（経年比較）



玉城町の子育て支援施策についておたずねします。

(5) 子育て支援施策について

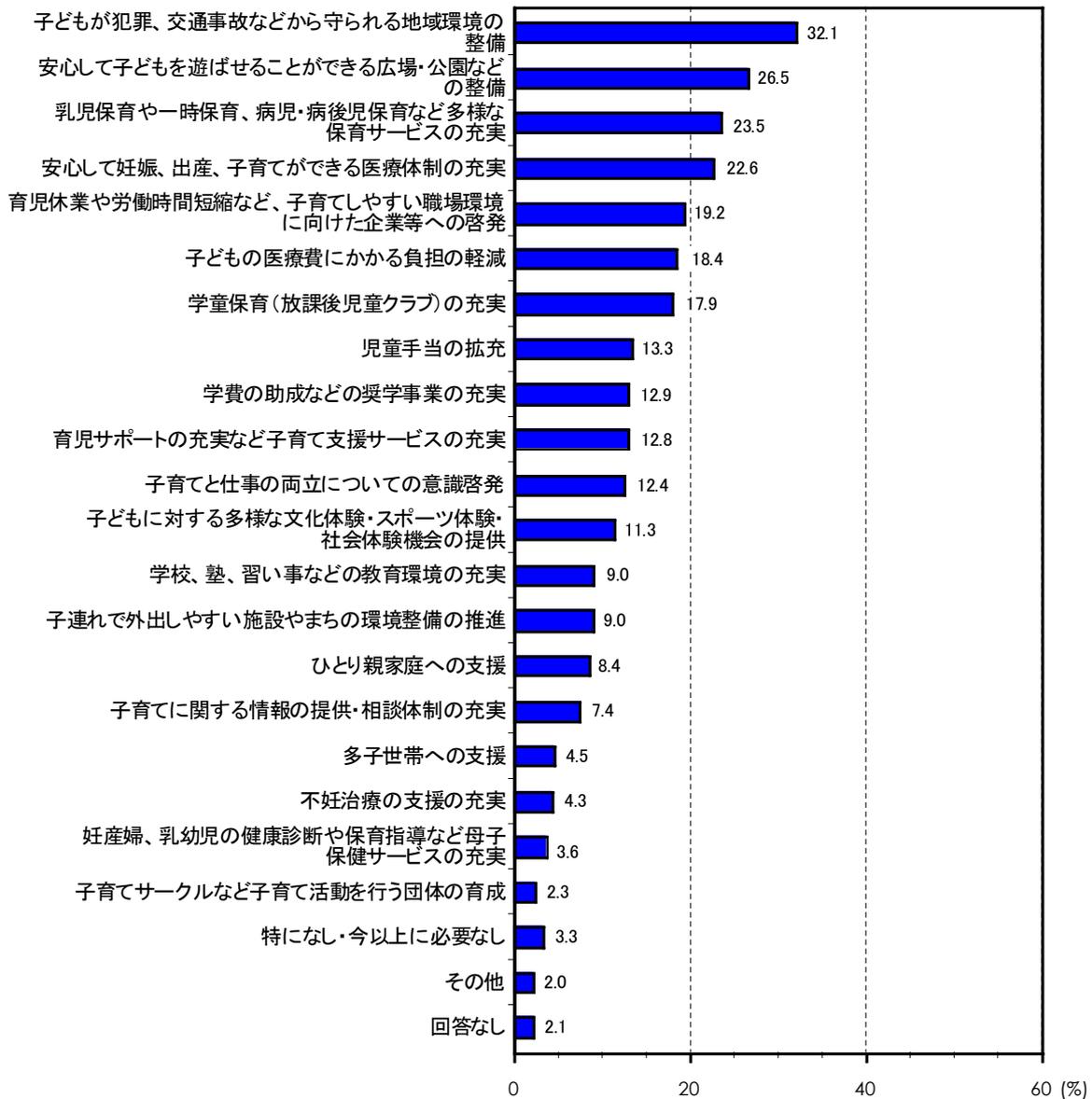
問 15 子どもを産み育てやすい環境にしていくために、玉城町ではどのようなことに取り組む必要があると思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆子どもが犯罪や交通事故から守られる地域環境の整備、広場・公園などの遊び場の整備、多様な保育サービス、産科・小児科などの医療体制の充実への期待が高くなっています。

- 子どもを産み育てやすい環境にしていくために、取り組みの必要性が高い項目は、「子どもが犯罪、交通事故などから守られる地域環境の整備」が32.1%で最も多く、「安心して子どもを遊ばせることができる広場、講演などの整備」が26.5%、「乳児保育や一時保育、病児・病後児保育など多様な保育サービスの充実」が23.5%、「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制の充実」が22.6%と続いています。
- 「特になし・今以上に必要なし」はわずか3.3%であり、多くの人取り組みの必要性を感じています。

図表 28 子育て支援施策

n = 797



玉城町の移住・定住施策についておたずねします。

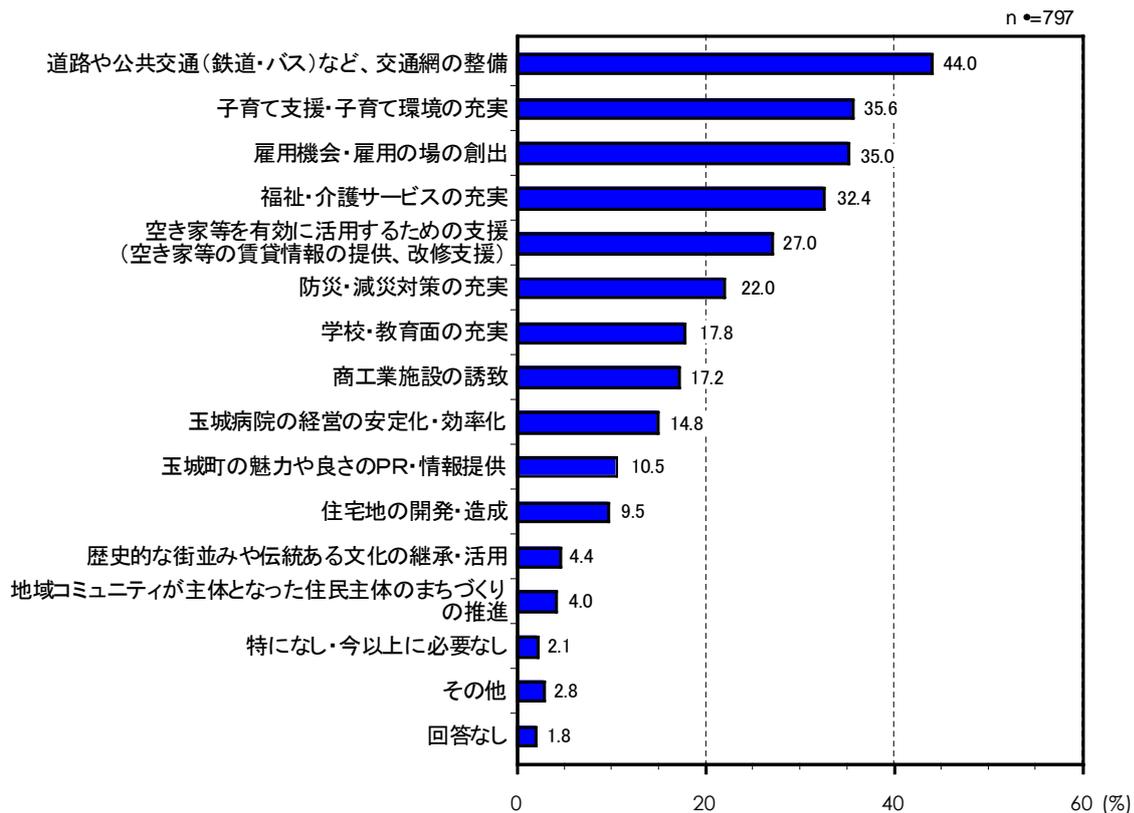
(6) 移住・定住施策について

問 16 玉城町に多くの方が住むようにするためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆移住・定住策として、交通網整備や子育て支援・環境の充実、雇用の充実、福祉・介護サービスの充実が求められています。

- 玉城町に多くの方が住むようにするための取り組みとして「道路や公共交通（鉄道・バス）など、交通網の整備」が 44.0%、「子育て支援・子育て環境の充実」が 35.6%、「雇用機会・雇用の場の創出」が 35.0%、「福祉・介護サービスの充実」が 32.4%と続いています。
- 「特になし・今以上に必要なし」は 2.1%とわずかです。

図表 29 移住・定住施策



## 玉城町の若者支援施策についておたずねします。

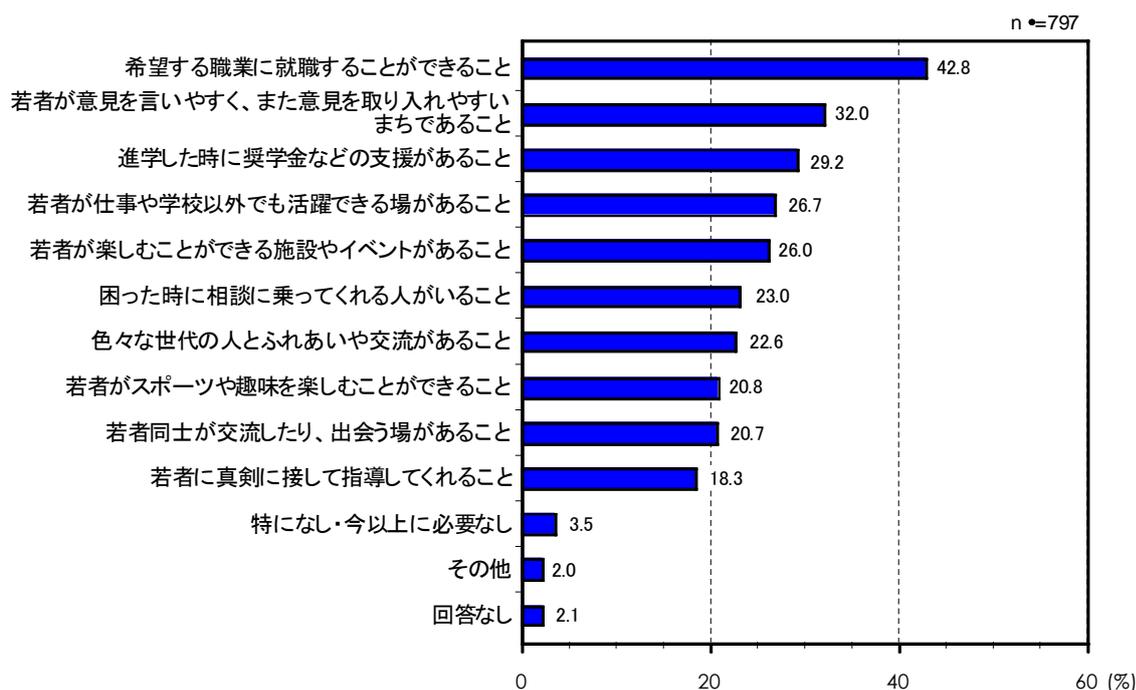
### (7) 若者支援施策について

問 17 玉城町が若者にとって暮らしやすく、夢や希望が持てるようになるには、今後、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆希望する職業に就職できること、若者が意見を言いやすく・受け入れられるまちであることが若者にとって暮らしやすく、夢や希望を持てる取り組みと考えられています。

- 玉城町が若者にとって暮らしやすく、夢や希望が持てるようになるためには、「希望する職業に就職することができること」が42.8%と最も多く、「若者が意見を言いやすく、また意見を取り入れやすいまちであること」が32.0%と続いています。
- ほとんどの項目で20%以上の回答があり、若者支援施策に多くの取り組みが求められています。

図表 30 若者支援施策



玉城町の就業支援施策についておたずねします。

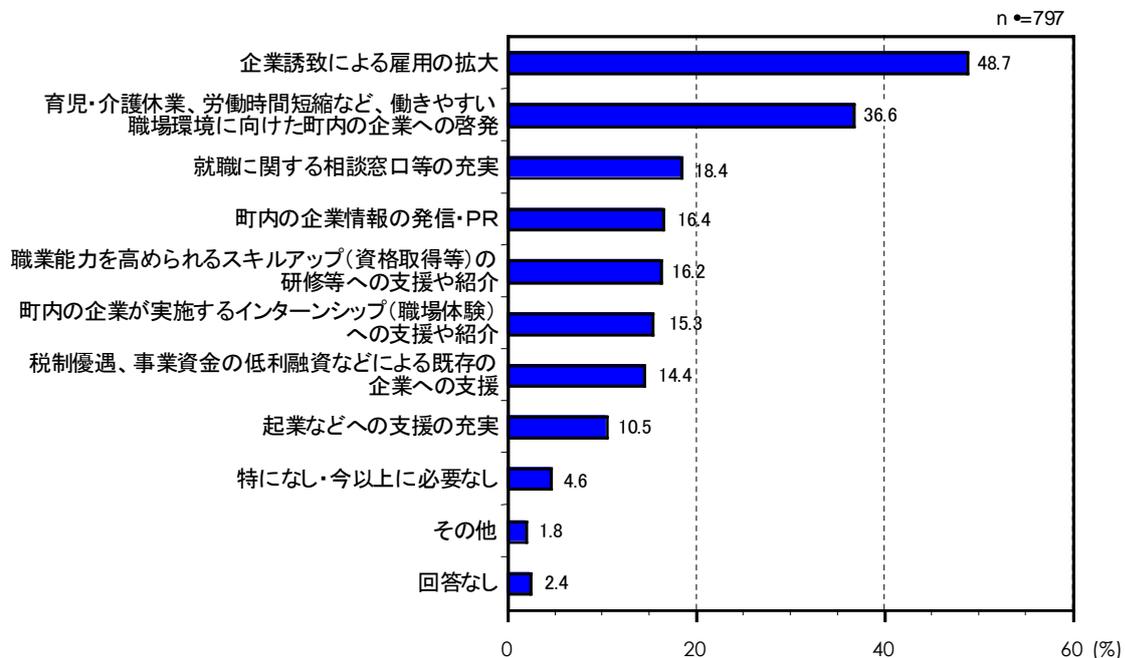
(8) 就業支援施策について

問 18 玉城町で働く人を増やすために、今後、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆就業支援施策として、企業誘致と働きやすさのための企業への啓発が求められています。

○ 玉城町で働く人を増やすための力を入れることは「企業誘致による雇用の拡大」が48.7%と最も多く、「育児・介護休業、労働時間短縮など、働きやすい職場環境に向けた町内の企業への啓発」が36.6%と多くなっています。

図表 31 就業支援施策



玉城町の防災対策についておたずねします。

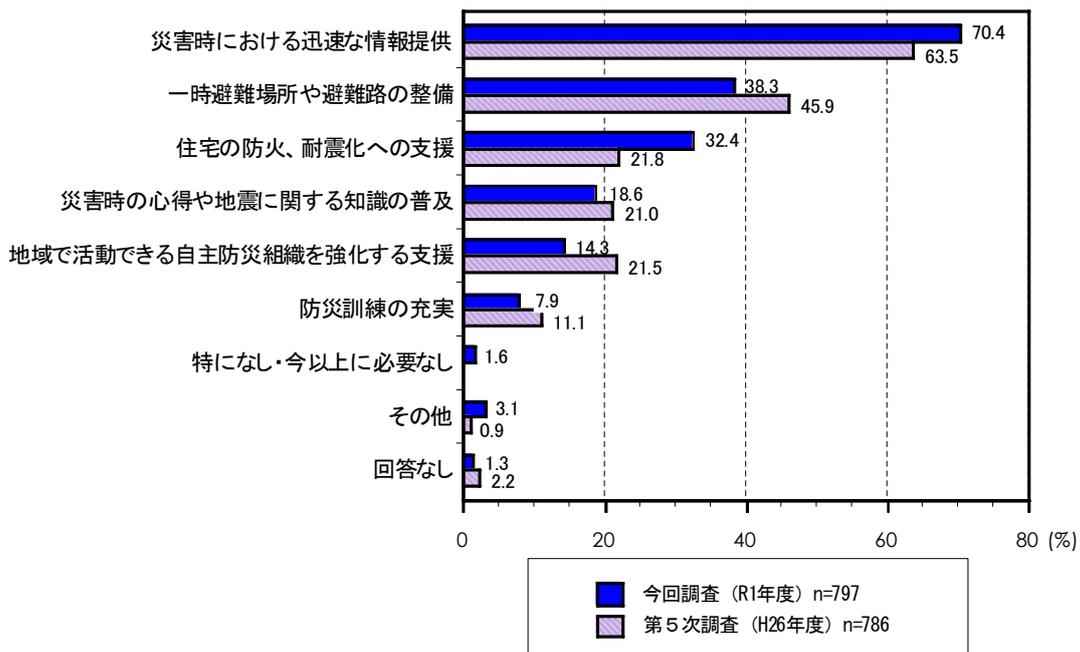
(9) 防災対策について

問 19 地震や集中豪雨などの災害に、あなた自身が備えるために、町としてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆防災対策として、災害時の迅速な情報提供が最も多くなっています。

- 災害時や自分自身の災害時の備えのため、町として支援することを尋ねたところ「災害時における迅速な情報提供」が70.4%と最も多くなっています。次いで、「一時避難場所や避難路の整備」が38.8%、「住宅の防火、耐震化への支援」が32.4%と続いています。
- 第5次調査と比較すると、「住宅の防火、耐震化への支援」が10.4ポイント、「災害時における迅速な情報提供」6.9ポイントと上昇し、期待が高まっています。

図表 32 防災対策



玉城町の文化・スポーツ振興についておたずねします。

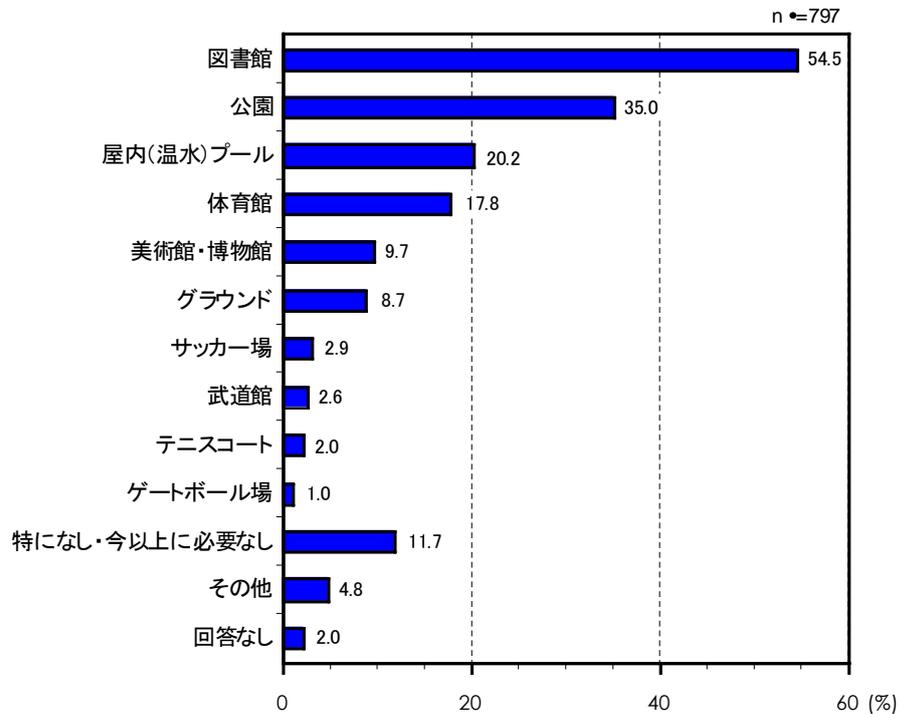
(10) 文化・スポーツ施策について

問 20 町の文化振興やスポーツ振興等に向けて、今後、町内にどのような施設の整備や改修が必要だと思いますか。あなたが望む施設を2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆文化・スポーツ施設の整備・改修としては、図書館、公園が求められています。

- 町の文化振興やスポーツ振興等に向けて必要とされる施設の整備・改修を尋ねたところ、「図書館」が54.5%で最も多く、「公園」が35.0%、「屋内（温水）プール」が20.2%、「体育館」が17.8%と続いています。
- 「特になし・今以上に必要なし」が11.7%となっています。

図表 33 文化・スポーツ施設の整備や改修が必要なもの



玉城町の文化財等の歴史的資産保護等についておたずねします。

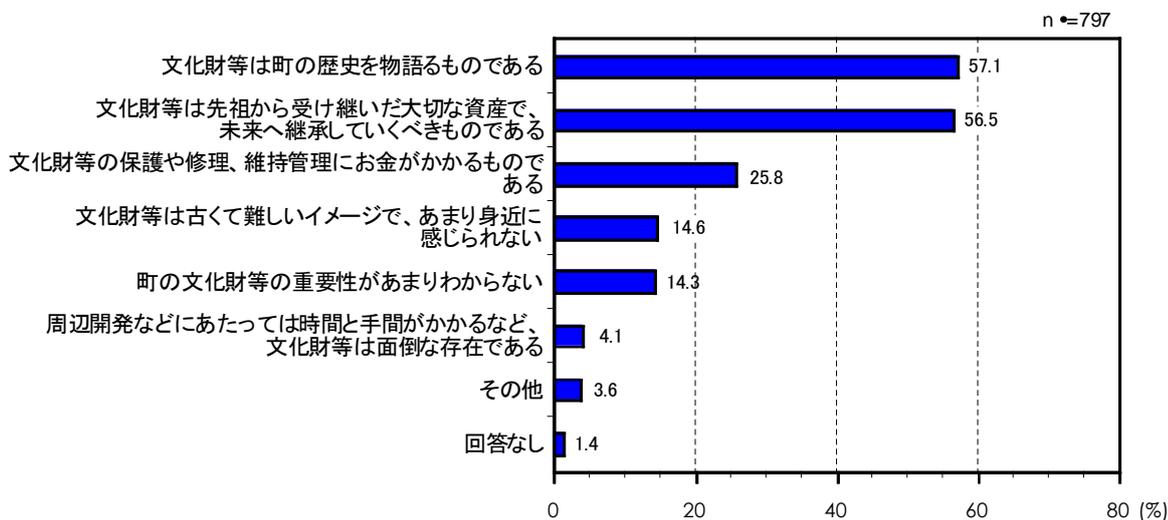
(11) 文化財等の歴史的資産保護等について

問 21 町内には田丸城跡、田宮寺の木造十一面観音立像、旧金森家別邸「玄甲舎」(茶室)などの有形・無形の文化財が数多く残っていますが、これらの文化財についてのあなたのお考えに近いものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆文化財は歴史を物語るもの、未来へ継承していくべきものという考えが半数を超えて多くなっています。

○ 文化財について「文化財等は町の歴史を物語るものである」が57.1%、「文化財等は先祖から受け継いだ大切な資産で、未来へ継承していくべきものである」が56.5%と半数を超え、文化財を今後も大切にしていきたい考えが多くなっています。

図表 34 文化財等の保護施策

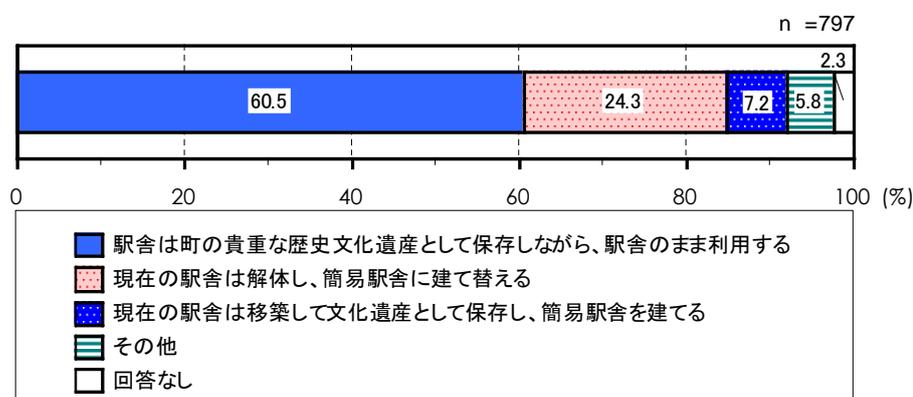


問 22 駅舎の老朽化に伴い、近隣市町の JR の駅が簡易な駅舎になりつつあります。田丸駅においても、同様の可能性があります。そこで、今後、駅舎について、どのような取り組みをしていくべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

◆田丸駅の駅舎は歴史文化遺産として保存しながら、そのまま利用する希望が6割を占めています。

- 田丸駅の駅舎は、「駅舎は町の貴重な歴史文化遺産として保存しながら、駅舎のまま利用する」が60.5%と最も多く、「現在の駅舎は解体し、簡易駅舎に建て替える」が24.3%であり、「現在の駅舎は移築して文化遺産として保存し、簡易駅舎を建てる」が7.2%であり、駅舎の保存については67.7%が賛成しています。

図表 35 田丸駅駅舎の保存について



地域の自治活動についておたずねします。

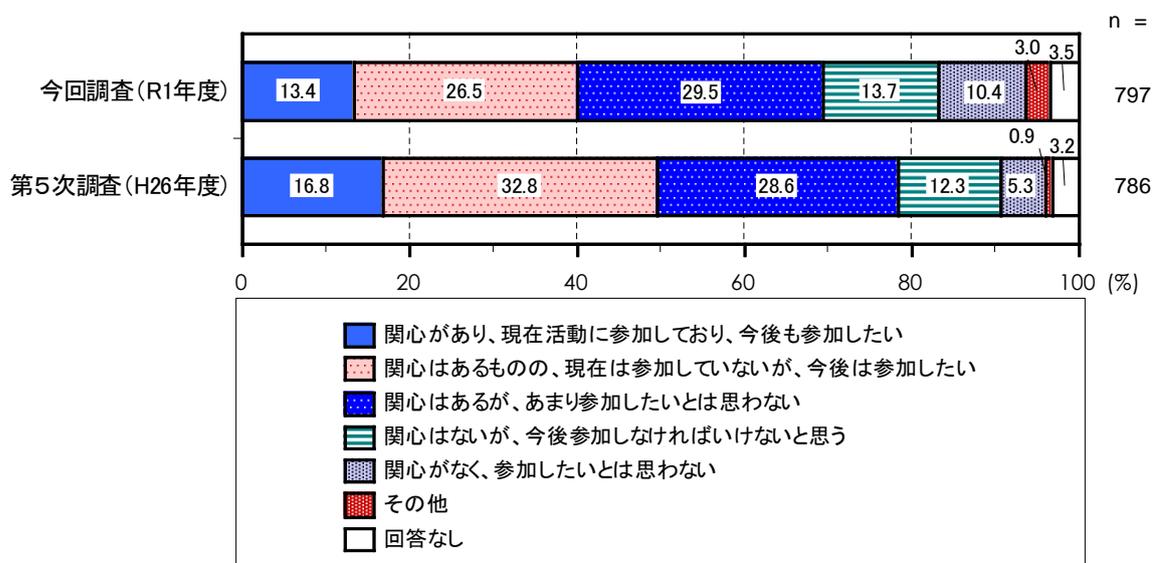
(12) 地域の自治活動について

問 23 あなたは、お住まいの地域の自治活動（防災・防犯活動、清掃活動、健康増進活動、福祉活動など）に対してどのようにかかわりたいとお考えですか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

◆地域の自治活動に対して、「今後も参加したい」「今後参加したい」の合計は約4割、「参加したくない」「関心がなく、参加もしたくない」の合計も約4割を占めています。

- 地域の自治活動に対する参加意向は、「関心があり、現在活動に参加しており、今後も参加したい」が13.4%、「関心はあるものの、現在は参加していないが、今後は参加したい」が26.5%、「関心はあるが、あまり参加したいとは思わない」が29.5%、「関心はないが、今後参加しなければいけないと思う」が13.7%、「関心がなく、参加したいとは思わない」が10.4%となっています。
- 「関心があり、現在活動に参加しており、今後も参加したい」「関心はあるものの、現在は参加していないが、今後は参加したい」を合わせた参加意向のある割合は39.9%となっています。
- 第5次調査と比較すると、参加意向のある割合は9.7ポイントと大きく減少しています。

図表 36 地域の自治活動（経年比較）

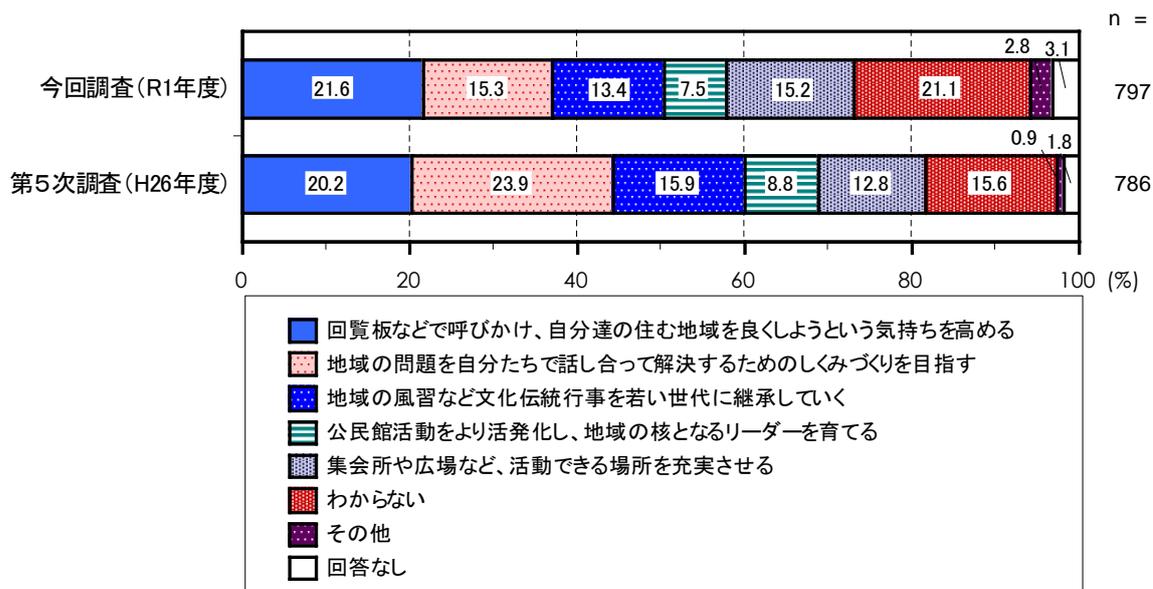


問 24 地域における自治活動がいつそう進むためには、地域として何を行うことが重要だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

◆地域の自治活動が進むためには、地域を良くしようという住民の意識を高めること、地域の問題を話し合う場や機会をつくること、活動できる場所の充実が求められています。

- 地域の自治活動が進むために重要なことは、「回覧板などで呼びかけ、自分達の住む地域を良くしようという気持ちを高める」が21.6%で最も多く、「地域の問題を自分達で話し合っ解決するためのしくみづくりをめざす」が15.3%、「集会所や広場など、活動できる場所を充実させる」が15.2%と続いています。
- また「わからない」が21.1%となっています。
- 第5次調査に比べて、「地域の問題を自分達で話し合っ解決するためのしくみづくりをめざす」が8.6ポイント減少し、「わからない」が5.5ポイント多くなっています。

図表 37 地域の自治活動推進のために重要なこと（経年比較）



玉城町の協働のまちづくりについておたずねします。

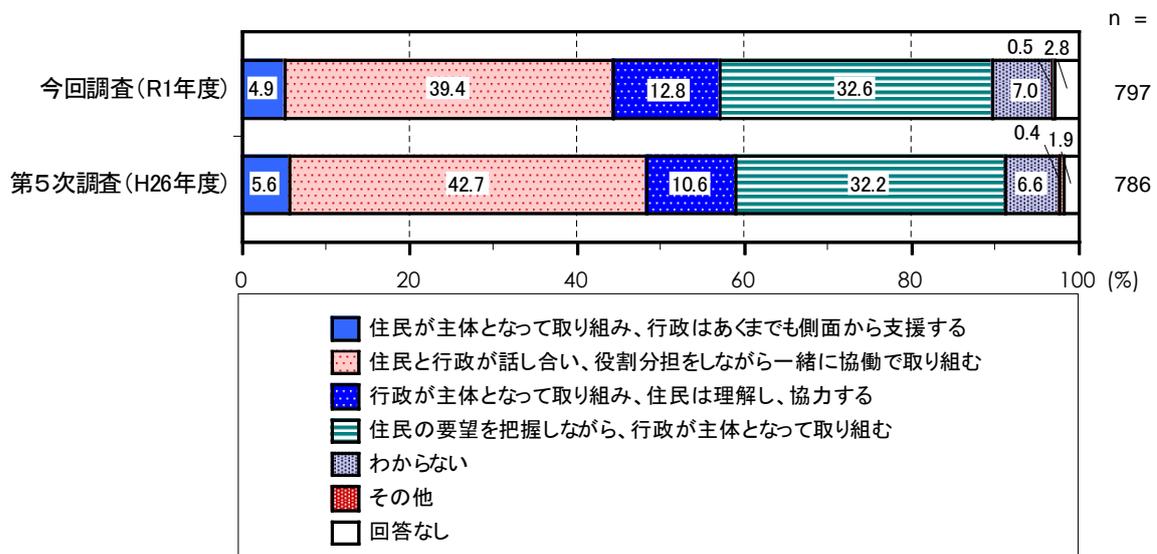
(13) 協働のまちづくりについて

問 25 あなたがお住まいの地域をより良くするためのまちづくりを進める方法として、どのようなやり方が望ましいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

◆まちづくりの進め方は「住民と行政との協働によるまちづくり」と「行政主体のまちづくり」を望んでいる方が拮抗しています。

○ 地域をより良くするためのまちづくりの進め方として「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら一緒に協働で取り組む」が39.4%と最も多くなっています。次いで「住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」が32.6%、「行政が主体となって取り組み、住民は理解し、協力する」が12.8%、「住民が主体となって取り組み、行政はあくまでも側面から支援する」が4.9%となっており、住民と行政との協働によるまちづくりを望んでいる方と行政主体のまちづくりを望んでいる方が拮抗する状況となっています。

図表 38 協働のまちづくり（経年比較）

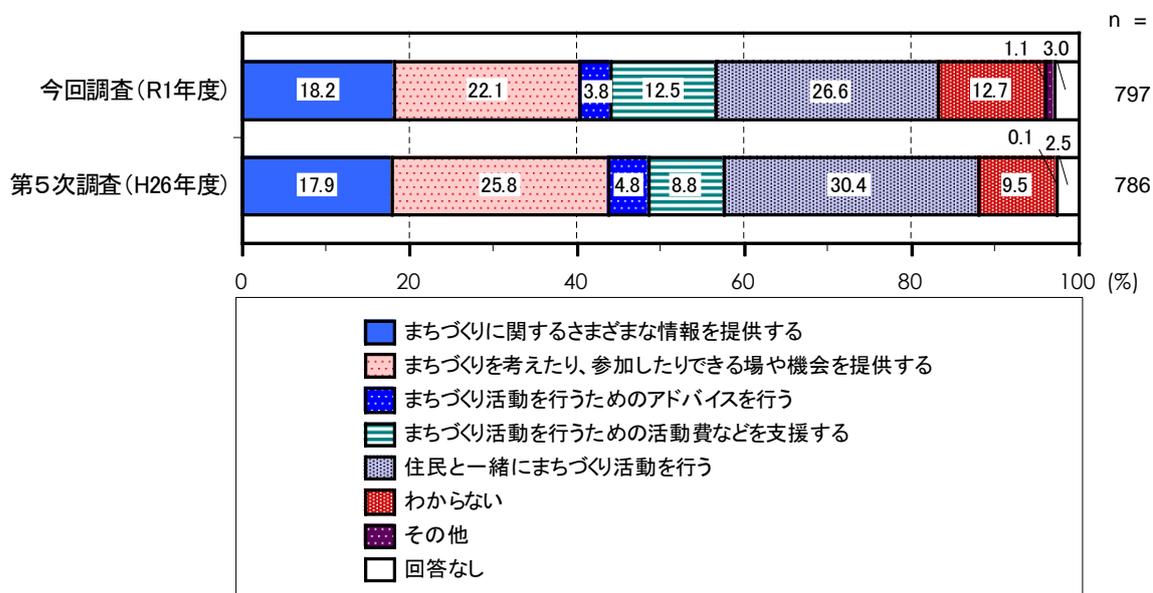


問 26 あなたは、協働のまちづくりを推進する上で、町としてどのようなことを行うべきと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

◆協働のまちづくりを推進する上で町として行うべきことは、住民と一緒にまちづくり活動を行うことやまちづくりへの参加の場や機会、情報の提供が求められています。

○ 協働のまちづくりを推進する上で、町として行うべきことは、「住民と一緒にまちづくり活動を行う」が26.6%と最も多く、次いで「まちづくりを考えたり、参加したりできる場や機会を提供する」が22.1%、「まちづくりに関するさまざまな情報を提供する」が18.2%と続いており、町として、住民と一緒にまちづくり活動を行うことやまちづくりへの参加の場や機会、情報の提供が求められています。

図表 39 協働のまちづくりのために必要なこと（経年比較）



玉城町の行財政改革についておたずねします。

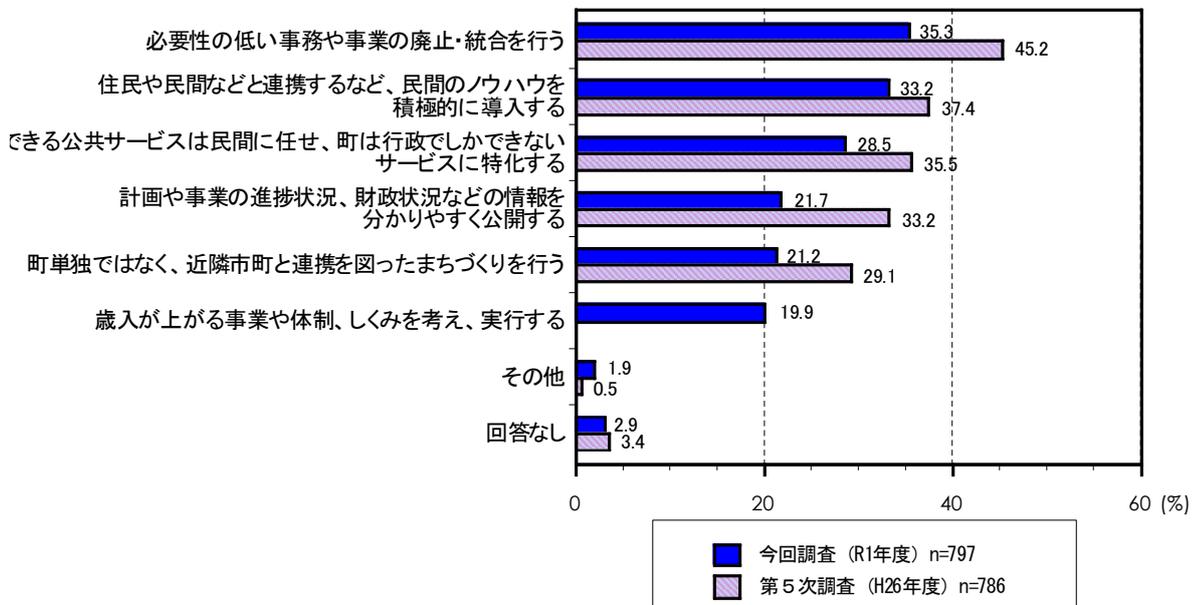
(14) 行財政改革について

問 27 過疎化、少子高齢化の中、地方の財政状況は非常に厳しい状況を迎えており、行財政改革を進めていくことが求められます。そこで、玉城町において行財政改革を進めるうえで、何を重視すべきだと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆行財政改革では、必要性の低い事務や事業の廃止統合や民間のノウハウの導入が重視されています。

- 行財政改革を進める上で、重視すべきことは、「必要性の低い事務や事業の廃止・統合を行う」が35.3%、「住民や民間などと連携するなど、民間のノウハウを積極的に導入する」が33.2%、「代行できる公共サービスは民間に任せ、町は行政でしかできないサービスに特化する」が28.5%と続いています。
- 第5次調査と比較すると、選択肢が増えたことで、全体的に減少傾向になっていますが、特に、「計画や事業の進捗状況、財務状況などの情報を分かりやすく公開する」が11.5ポイント、「必要性の低い事務や事業の廃止・統合を行う」が9.9ポイント、「町単独ではなく、近隣市町と連携を図ったまちづくりを行う」が7.9ポイントと大きく減少しています。

図表 40 行財政改革で重視すること（経年比較）

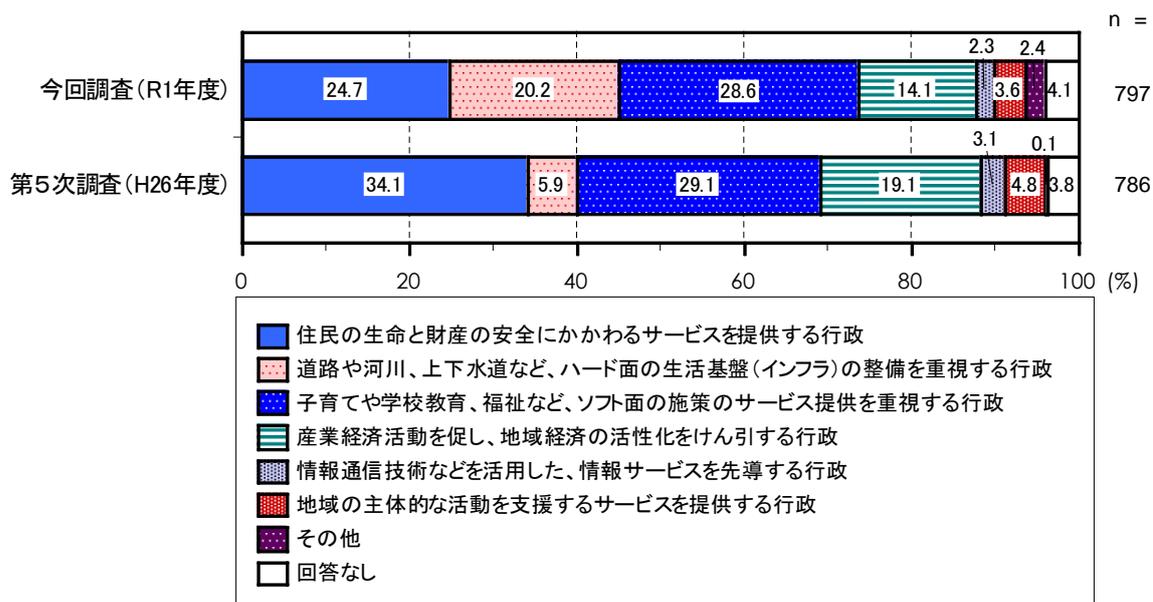


問 28 これからの玉城町には、どのような役割が求められていると思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

◆求められる行政の役割は、ソフト面の施策、ハード面の施策、住民の生命と安全に関わるサービス提供が求められています。

- 今後の行政の役割は、「子育てや学校教育、福祉など、ソフト面の施策のサービス提供を重視する行政」が28.6%と最も多く、「住民の生命と財産の安全に関わるサービスを提供する行政」が24.7%、「道路や河川、上下水道など、ハード面の生活基盤（インフラ）の整備を重視する行政」が20.2%と続いています。
- 第5次調査と比較すると、「住民の生命と財産の安全に関わるサービスを提供する行政」が9.4ポイント、「産業経済活動を促し、地域経済の活性化をけん引する行政」が5.0ポイントと大きく減少しているのに対して、「路や河川、上下水道など、ハード面の生活基盤（インフラ）の整備を重視する行政」が14.3ポイントと大きく増加しています。

図表 41 今後の町の役割（経年比較）



## 住民意識調査による総合戦略の数値目標の比較

### ■留意事項

- ・今回調査は、16歳以上の町内在住者を無作為で抽出した2,000名を対象に実施。
- ・総合戦略調査は、町内在住の15～22歳の高校生・大学生相当の住民1,144名と町内在住の22～49歳の在住者・転入者1,830名を対象に実施。
- ・総合戦略調査は、両方の調査で22歳が対象となっているため、23～49歳の総合戦略調査結果には22歳も含んでいる。

### 問8. まちが好きだ（自慢できる）と思う割合

	今回調査（R元年）		総合戦略調査（H27年）	
	件数	割合	件数	割合
16～22歳	60	88.3%	448	63.8%
23～49歳	309	78.6%	794	73.5%
合計	369	80.2%	1,242	70.0%

※「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

### 問9. 玉城町が子育てする場所として魅力的だと思う割合（23～49歳）

	今回調査（R元年）		総合戦略調査（H27年）	
	件数	割合	件数	割合
出身者	129	73.7%	257	67.3%
転入者	180	72.2%	530	65.4%
合計	309	72.8%	794	65.6%

※「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

### 問10. 玉城町が働く場として魅力的だと思う割合（23～49歳）

	今回調査（R元年）		総合戦略調査（H27年）	
	件数	割合	件数	割合
出身者	129	46.5%	257	43.6%
転入者	180	38.9%	530	36.6%
合計	309	42.1%	794	38.8%

※「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

### 問11. 玉城町に住み続けたいと思っている割合

	今回調査（R元年）		総合戦略調査（H27年）	
	件数	割合	件数	割合
16～22歳	60	43.3%	448	40.6%
23～49歳	309	68.0%	794	64.0%
合計	369	64.0%	1,242	55.6%

※「住み続けたい」と回答した人の割合